

山口県医師会報

令和2年(2020年)

8月号

— No.1920 —

夏季特集号



緑陰随筆

● 表紙の写真に寄せて

宇部市 渡木 邦彦

表紙



石垣島の海浜です。娘の大学の同級生が、石垣島の診療所へ勤務しており、那覇までクルーザーで迎えに来てくれての旅行でした。夏の涼しさ満点というより、海浜の美しさを真上から撮影すると、きっと浮かんだように写って綺麗だったと思うのです。

裏表紙



仁保の源久寺の蓮の花です。昨年6月に、仁保の一貫野の藤の花を撮影しに行った帰途に寄った時のものです。蓮の花と言えば、仏教国である日本では、やはりお釈迦さまです。濁ったドブ沼から、汚れを知らぬ蓮の花が気高くスッと伸びた姿。残念ながら、この写真はそこまでの風格は感じられません。私の腕をもっと上げなければなりません。

Contents

■表紙の写真に寄せて	宇部市 渡木邦彦	512
疱瘡の御守りーパンデミックに思いを馳せてー	板垣明味	514
ベトナムにカムオン（感恩）	岩本 功	518
この時期の朝活効果	篠原淳一	521
英雄たち（一市民）の選択	塩見祐一	522
自分の命の終焉を考えてみる（前編）	渡木邦彦	524
ステイホーム型バードウォッチング	望月一徳	528
天の川	松原信行	530
国譲り	しまふくろう	532
エアラインパイロットになるには	新川邦圭	535
俳句ギャラリー	ふしの句会（山口市医師会）	538
四国八十八ヶ所お遍路の勧めー 遍路大使になってー	山下哲男	540
医者へ個人情報保護法を守れという愚	八木 謙	544
ウィルスとの共生は生物を進化させる	中村和行	546
■今月の視点「看護師特定行為研修について」	沖中芳彦	550
■山口県医師会 第 186 回定例代議員会		558
＜傍聴印象記＞	渡邉恵幸	569
■山口県医師会 令和元年度 事業報告		570
■令和 2 年度 山口県医師会表彰		588
■“新型コロナ時代”における災害時避難所対策 「令和 2 年度都道府県医師会災害医療・感染症危機管理 担当理事連絡協議会」	前川恭子	590
■理事会報告（第 6 回、第 7 回）		596
■お知らせ・ご案内		600
■日医 FAX ニュース		603
■編集後記	広報委員	608

疱瘡の御守り —パンデミックに思いを馳せて—

徳山 板垣 明味

周南市櫛ヶ浜には江戸時代から続く旧家があります。寛政10（1798）年に長崎沖で座礁したオランダ船を引き揚げた功績により、藩から名字帯刀を許された村井喜右衛門の子孫の家です。そこのご主人から、「神棚を片付けていたら面白いものが出てきたよ」と、宮型の御札立てを見せてもらいました。

御札立ての中に入っていたのは「御祈祷之札 快照院」、「鷺社大明神御鎮符」と記された2つの紙包みでした。

まず、「御祈祷之札 快照院」（写真1）を開いてみました。中には「奉誦仁王般若經全部如意祈候」と書かれた紙と、何やら記号のような文字が

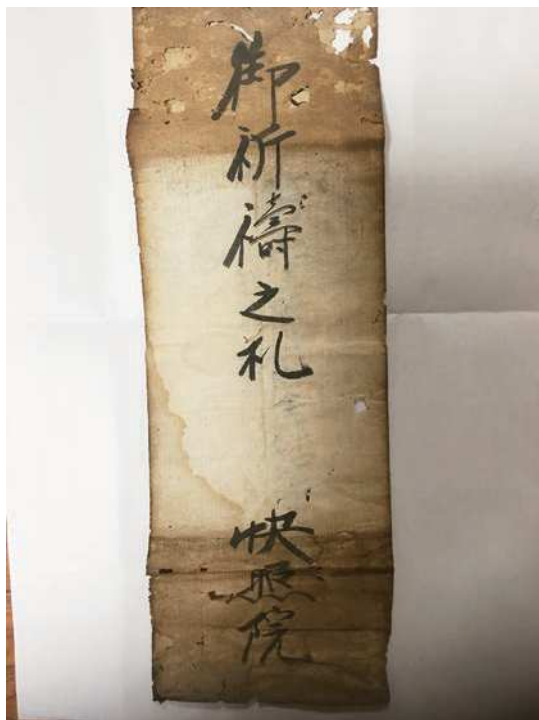


写真1

書いてある薄紙が入っていました。梵字でしょうか。何と書いてあるのか、さっぱりわかりません。でも、これを持っていれば般若經を全て唱えたこととなり、災いを払い、福をもたらすというものでしょう。

快照院は、私が住んでいる櫛ヶ浜の駅の辺りにあった古蹟ですが、あまり知られておりません。修験道の寺で、本山は京都醍醐寺三宝院。本尊は不動明王です。

天保時代の地誌『防長風土注進案』によると、豊前国から養仙房という修験者（山伏）が櫛ヶ浜にやって来て、寿永2（1183）年に七堂伽藍を建立したということです。修験道の開祖である役行者への供奉のためでした。その後、宝永4（1707）年に寺は焼失しましたが、櫛ヶ浜駅の裏にある住宅地の一角に快照院の開祖、養仙房の墓が今もひそかに残っています。

江戸時代、日向の修験者 野田泉光院が6年2か月の歳月をかけ、諸国名山霊蹟を巡拝しました。途中、文化14（1814）年1月に野田泉光院は快照院を訪れ、しばらく逗留したと『日本九峰修行日記』の中に書いています。

そして、明治になり廃仏毀釈運動に遭い、快照院は長門国厚狭郡吉部村へ移転しました。

もう一つの「鷺社大明神御鎮符」と記された包みの裏側には、「天保六年七月吉日」と記されています。天保6年は1835年で185年も前のものです。包みを開けると、それぞれ「疱瘡御守」（写真2）、「神笠」（写真3）と赤で書かれた2つの紙包みが出てきました。

厄除けの赤い文字、御守りの中を見たら罰が当



写真 2

たるかしらと思いながら、恐る恐る「疱瘡御守」を開けると、また小さな紙包み。「神石」と書かれています。何が入っているのかと期待して開けてみると、小さな石が入っていました。小指の先程の大きさで角の取れた、ありふれた灰色の小石でした。

次に、「神笠」の包みを開けると、中には版画で使うバレンの様なものが入っていました。竹と笹の葉でできており、よく見ると小さな被り笠の形をしています。

鷺社は、出雲の鷺浦にある伊奈西波岐神社のことで、鷺大明神は古来より疱瘡除けの靈験あらたかなる神様として崇められていました。天武天皇や聖武天皇の御代に疱瘡が流行したときに、出雲より鷺大明神が飛来して天皇や人々を守ったという言い伝えがあるそうです。

また、松江藩の地誌『雲陽誌』には、「美しい鷺宮の神は、素戔嗚すさのおの側女でした。しかし、疱瘡を患って痘痕あばたが残り醜くなってしまうと、素戔嗚の心は離れてしまいました。それを嘆き悲しみ、『吾を祈れば疱瘡の患いを免れるとしよう』と誓いました。この宮の石を小児の守り袋に入れて首にかければ、疱瘡から逃れられると伝わっています。」とあります。

また、先程の修験者 野田泉光院が『日本九峰修行日記』の中で、文化十四（1814）年四月



写真 3

十六日「海辺へ出て鷺大明神と云ふに詣で納経す。これ疱瘡の守護神日本第一也・・・近村の者疱瘡前にはこの社の社段の石を申請け帰り、疱瘡成就の上返すとのこと也。」と記しています。

村井家の「神石」は大変ご利益がある物なのだなと思いました。

一方、「神笠」については、瘡蓋かさぶたから笠に関連した言われがあるだろうと思って探したのですが、残念ながら、由来についての記録は見つけられませんでした。疱瘡が激しい瘡蓋を生じることから、疱瘡神は、瘡神様、笠神様とも呼ばれるという一文があるのみでした。なお、痘痕が残ることから、疱瘡神は別名、芋明神とも言われています。

疱瘡は一生のうち一度はかかるもので「御厄」と呼ばれました。疱瘡が一人出ると身代潰すとも言われていました。隔離の他には有効な手立ては無く、家族は疎まれ、毎日、食べ物や薬、衣類を運び、医者も頼まなくてはならず、経済的にも困窮したのです。疱瘡は、江戸時代には「美目定めかきの病」とも言われ、たとえ治癒しても顔に醜い痘

痕が残るため、忌み嫌われる病でした。患者や家族、接触者が偏見や差別に遭ってしまう新型コロナウイルスみたいです。

発疹が赤いと経過が良いといわれ、また、痘鬼は赤色を嫌うとして疱瘡の患者の周囲は衣類、調度、玩具に至るまで赤色づくめにする風習がありました。また、赤色だけで書いた赤絵、疱瘡絵というお守りもありました。

新型コロナウイルスの厄除けとして最近アマビエの絵をよく見かけますが、本気で信じている人は少ないと思います。でも、江戸時代の人々は、神仏に祈る以外に術がありません。それこそ必死に祈ったことでしょう。

疱瘡は痘瘡とも言い、天然痘ウイルスの感染症です。伝染力が非常に強く、大流行し、多数の死者を出して世界中の人々から恐れられた疫病でした。現在流行中の新型コロナウイルスに似ているなと思います。

天然痘の発祥の地はインド周辺で、ヨーロッパには12世紀の十字軍遠征の頃に伝わりました。コロンブスの新大陸発見以降、米国にも広がり、16世紀以降も世界中で流行が繰り返されました。

日本には仏教伝来の頃に大陸から伝わり、奈良時代にはしばしば流行して、奈良の大仏様の造立のきっかけの一つとなりました。史書に初めて登場するのは天平7(735)年の『続日本記』だと言われています。

天然痘は飛沫感染し、潜伏期は約2週間。急な高熱、頭痛、関節痛などで発症。口の中から始まり全身に臍窩のある水疱が出現、膿疱化し高熱と疼痛が持続。嚥下困難、呼吸障害がみられ、結痂、落屑と移行。1～2週間でウイルス血症のため死亡することも多く、治癒する場合は、2～3週間の経過で色素沈着や瘢痕を残します。痂痂が脱落するまで感染力があり、治癒すれば強力な免疫がつきます。

失明率も高く、“独眼竜”伊達政宗は幼少時の疱瘡で右眼を失明したし、座頭市も疱瘡で盲目となりました。座頭とは琵琶法師や按摩、鍼灸を業とした江戸時代の盲人を指します。三味線を弾き

唄を歌い金を乞う^{こづ}贅女となる者もいました。

天然痘は臨床的に重症化しやすい variolae major と軽症の variolae minor の2つのタイプがあり、致命率はそれぞれ20～50%、1%以下です。20世紀中に世界で何と3～5億人が天然痘のために死亡しています。今の新型コロナウイルスに匹敵するか、それ以上のものだと考えられます。そこで、できるだけ軽くかかって疫から逃れようと考えられたのが種痘です。

人痘を用いた種痘法は中央アジアで発祥、東は中国から日本へ、西はトルコからヨーロッパへと伝わりジェンナーの牛痘接種法へと発展しました。

延享元(1744)年頃に中国から伝わった種痘^{かきふた}は、乾燥し粉末にした痘痂を鼻孔に吹き込む乾苗法と、湿らして丸めて鼻孔に押し込める水苗法がありました。ヨーロッパに伝わった種痘法は痘漿(水疱の液)を採り、腕にランセットで作った傷へ塗り込む方法でした。いずれも死亡率が2%と安全性に問題がありました。

牛の天然痘(牛痘)にかかれば人の天然痘にはかからないという通説を基に、イギリスのジェンナーが1796年に牛痘接種法を報告しました。日本で最初に牛痘を接種したのは文政6(1823)年に来日したシーボルトです。しかし、長い航海の間に痘苗が効力を失い、失敗に終わりました。その後、嘉永2(1849)年7月7日に長崎出島の蘭館医モーニケがオランダ領インドネシアのバタビアから牛痘苗を取り寄せ、本邦での牛痘接種に初めて成功しました。牛痘は人痘と違い、季節の寒暖、子供の年齢に関わりなく安全で、この原苗がたちまち全国へと広まっていきました。

『徳山医師会史』によると、長崎で牛痘接種が成功した2週後の7月22日には、その情報が萩藩医 青木周弼の所に届けられました。そして9月22日には長崎から痘苗を手に入れ、10月2日にはいち早く牛痘接種(種痘)が萩で公開されました。この時代、萩藩の迅速な対応には驚きます。江戸や大阪では1か月ほど遅れて、11月になってから種痘が始まったということです。

翌年1月に種痘法の講習が萩で開かれ、徳山

藩からは緒方洪庵が開いた適塾門下のエリート浅田文厚が出席しました。2 月、徳山藩は浅田文厚、長沼泰順、松岡珙英に命じ、御領内の家来から百姓、町人に至るまで、人々に種痘を実施しました。

痘苗を絶やさないために、また、ニセ医者による悪用を避けるために、徳山藩は最初から公的に種痘を行いました。そして接種に当たって、「身分の高低に拘わらず先着順を守る様に」との覚書きが出ておりました。徳山藩の施策は何て素晴らしいものだ！と思いました。

約 20 年後、慶応 3（1867）年には徳山の山下順庵、富田の四熊宗庵、大津島の末兼玄積が藩命を受け、御客屋や無量寺まで出張して種痘をしたとの記録があります。

山下家は代々藩医を務めた家です。四熊宗庵は世界初の全身麻酔で乳癌手術に成功した華岡青洲の門下です。末兼玄積は長崎のシーボルトの鳴滝塾で種痘を学んだそうです。末兼家は大内義隆の子孫で、天正 9（1581）年から田布施で代々医者続けました。藩命により文化 8（1811）年に大津島に移住し、その後昭和初期まで約 370 年間 12 代にわたり代々医者の家でした。

明治になっても天然痘が大流行し、明治 18（1885）年に種痘法が制定されました。その当時の死者は 32,000 人。2 回目の明治 29（1896）年の流行では 16,000 人死亡しました。その後、種痘が普及し死者は減り、戦前は 100 人以下となりました。戦後、引揚者の影響で一時的に大流行し死者 3,000 人を数えましたが、昭和 30（1955）年以降は日本の天然痘はゼロとなりました。

日本では昭和 49（1974）年度生まれまでが種痘を受けた世代です。もちろん私の右肩にも種痘の痕がしっかりついています。

昭和 55（1980）年 10 月 26 日に世界保健機構（WHO）によって全世界からの天然痘撲滅が宣言されました。現在、天然痘ウイルスはアメリカとロシアで厳重に保管されているそうです。

世界中で新型コロナウイルス感染症が流行し、大変なことになっている現在、一日でも早く、安全で効果的なワクチンが開発され、世界中の人々に接種できることを願っております。



ベトナムにカムオン（感恩）

下松 岩本 功

ジョンズ・ホプキンス大学に COVID-19 ダッシュボードというものがあり、WHO や CDC など世界中の機関から取得された新型コロナウイルス感染者数が集計され、1 時間毎に表示される数値やマップが自動更新されているとあります。このボード表示（写真 1）の 6 月 27 日現在のベトナムでは感染者数 353 名、死者数ゼロで新型コロナ対応の優等生と賞賛されています。これについては、2003 年の SARS（重症急性呼吸症候群・コロナウイルス 4 型）の経験が生かされ、迅速な検査体制に加えて接触者や入国者を無症状でも隔離するという「社会隔離」を徹底する事により市中感染を抑え込んだと評価されています。

筆者は、たまたま 2003 年 3 月に NGO 活動のためにハノイに滞在しており、ベトナム政府が

第 1 号 SARS 患者が入院したフレンチ病院に対して、職員ごと隔離し、病院を閉鎖するように強く指示した事には知人のベトナム人医師たちも驚きの声を上げていました。ハノイでの SARS 治療の指定病院はハノイ医科大学の教育病院であるバックマイ病院（JICA 支援、1,400 床）にある熱帯病研究所病棟（写真 2）となり、当時の WHO 指針は「病室を密閉して拡散を防ぐ」でしたが、担当医師たちが窓を開け放し、院内感染を防いだ事は WHO も評価して、その後は「感染症は 3 密で拡大する」が WHO 見解になったのではないのでしょうか。病院ごと隔離するのはベトナムという国家体制だから出来たなどの指摘もありましたが、感染症蔓延の予防の観点からは徹底的に感染経路を断つという公衆衛生学上の原則を国民に求めたことは正しい選択だったと思っています。

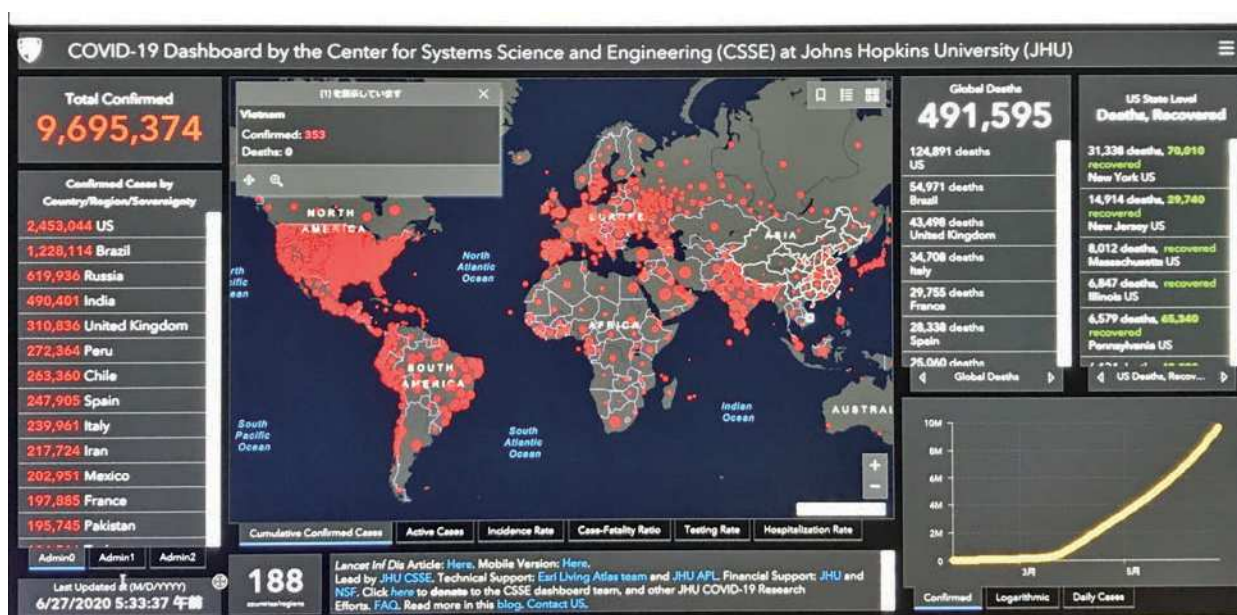


写真1 COVID-19 Dashbord（6月27日現在）

今回の新型コロナウイルス感染症に直面して、これまで自由気ままに過ごしてきた自分には「3密を避ける」のは手足を縛られるような不自由さがあり、ストレスにもなりましたが、2003年に目にしたベトナム方式とその成果を考えると不要不急の外出を自粛することには何らの抵抗もなく納得していました。

ベトナムでの医療・福祉支援を30年近く続けていますとベトナムの国民性には計り知れないマグマのような潜在パワーがあることを肌で感じます。1992年にベトナム人女医の内視鏡検査技術研修を旧下松記念病院で引き受けた折に、彼女からベトナムは市場原理を導入したドイモイ（刷新）政策で経済や文化は立ち直りつつあるが、ソ連邦崩壊による医療支援の打ち切りやアメリカの経済制裁などにより国立病院の医療環境は劣悪な状況になっているので日本に頼り、帰国したらベトナム国民のために役に立ちたいと打ち明けられました。彼女の帰国後、数か月して私は中古の胃内視鏡を1本下げて小さなハノイ空港に降り立ちました。あれから28年後のベトナムは目を見張るような変貌を遂げ、彼女は今やベトナムの消化器疾患診断と治療のリーダーになっているという凄まじいベトナムパワー（自助努力）を見せてくれています。

私が最初に覚えたベトナム語は「ありがとう」というカムオン（感恩）と「こんにちは（丁寧語）」のシンチャオです。ベトナム語の多くが漢字に由来した漢越語で、カム

オン（感恩）やチューイー（注意）がその例ですが、発音となると6つの声調（声の高さの変動）があるために簡単には会話出来ません。

昨年8月にはベトナムでの医療・福祉支援活動の25周年記念としてベトナムの関係者に感謝する会「ベトナムにカムオン」（写真3）をフエ市とハノイ市で行いました。



写真2 2006年 バックマイ病院にてハノイ医科大医師と



写真3 ハノイでの感謝会にて

また、これまでの NGO（NPO）活動が下松市とベトナムとの絆を深めたと評価され、東京オリンピック・パラリンピックで来日するバドミントン選手の事前合宿などのための「ベトナム・ホストタウン下松」の PR を依頼されましたので、VOV5（ベトナムの声・日本語放送局）訪問や感謝会などでしっかりと PR しましたが、残念ながら世界中に蔓延している新型コロナウイルス感染症のために選手の来日はなく、7月のベトナム訪問もポストコロナまで延期となりました。

人類（ホモ・サピエンス）は哺乳類の中で最も遅く、20 万年前に地球上に誕生し、その時にはすでに他の哺乳類には「究極の寄生性の生命体」と呼ばれるウィルスが寄生しており、今日まで人類とウィルスは進化・競争を繰り返しています。これからも人類による開発や温暖化などによっては想定外の新興感染症や再興感染症のパンデミックがあるかも知れません。

参考資料

1. COVID-19 Dashboard (Johns Hopkins Univ)
2. 「Newton 臨時増刊号 SARS の正しい知識」
2003 年 8 月 1 日 ニュートンプレス
3. 「感染症の世界史」石 弘之 洋泉社
4. 「ウイルス究極の寄生生命体」山内一也
日本放送出版協会
NHK 人間講座 2005 年 2 月－3 月期



この時期の朝活効果

徳山 篠原 淳一

近年は外出自粛要請などで「閉じこもりの状態」が増え、ストレスフルな状況が多いようです。

「朝活」という言葉が新聞で散見されますが、「朝の時間を利用して、普段なかなかできないことをする」といった意味合いのもので、朝時間の有効活用です。

これまでの私の経験を踏まえて、いくつか実例をご紹介します。

- ①まず、決まった時間に起床する。特に早起きの必要はありません。
- ② 20 分程の散歩をして日光浴をする。また、ラジオ体操も効果的です。
夜はグッスリ眠れるようになります。
- ③ 20 分程座禅をします。正式には線香一本分が座禅時間とされます。
臨済宗と曹洞宗では若干作法が異なりますが、座禅の基本は一緒です。
座禅中は細く長く口で息を吐き切るのがコツです。
ユックリした深い腹式呼吸には、自律神経を安定させるリラックス効果があります。

わたし個人の「朝活」はこういったものですが、コーヒーを入れるとか読書をするなど、人それぞれでよろしいと思います。

また、家族一緒に楽しくやるほうが、より長続きします。

こういった朝活効果で「気分的にスッキリし食欲も湧く」というのが個人的感想です。

診療場面で若い患者様の「朝食抜き」がよく見られますが、最近は朝食の重要性が指摘されています。

まず三度の食事を規則正しくすることです。

体内時計が近年注目されていますが、これは「視交叉上核」と言われる視床下部にある小さな細胞集団です。

御存じのように日光の働きにより毎日の睡眠リズムを安定させます。

「筋肉は裏切らない」という言葉がブームですが、「体内時計は裏切らない」と置き換えることもできるようです。

以上、簡単ですが先生方のご参考になれば幸いです。



英雄たち（一市民）の選択

下関市 塩見 祐一

来年度から大学入試の第一関門は“センター試験”から“共通テスト”に変わる。個人的には「どうせ！何も変わらない」と思っている。ただ、どんな科目にせよ、選択方式はヤメタ方がイイ。だって、勉学のうち学問は問うて学ぶが、勉強は強いて勉めるから試験がないと全くスルーしてしまう。凡人には。僕なんか、高校の時に数Ⅲ・物理・化学・日本史をとってないものだから、後々困った。

その日本史である。

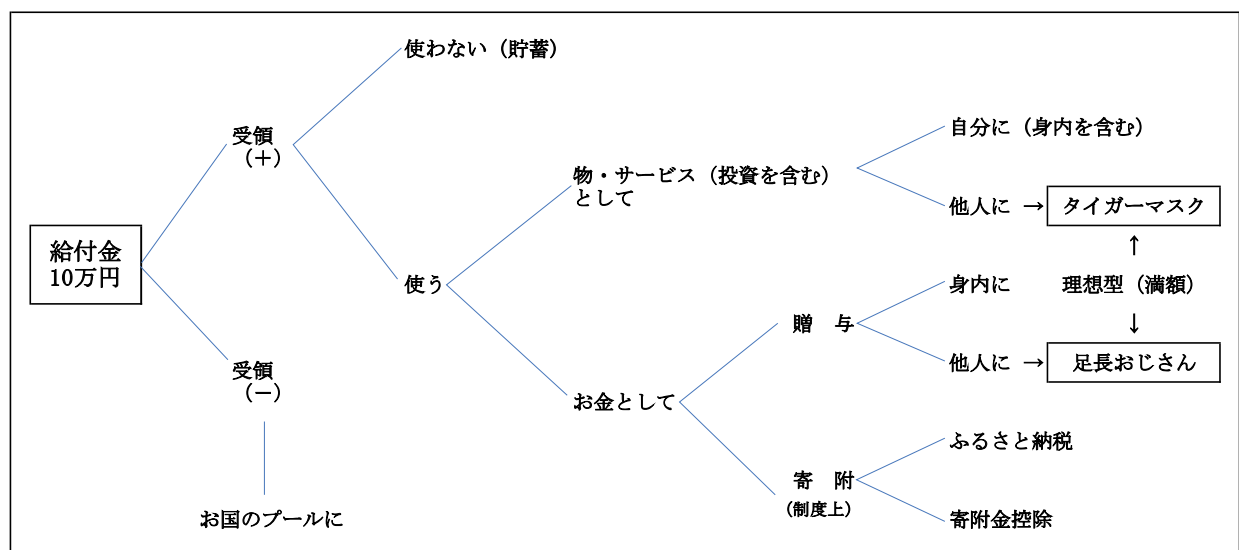
40年以上前、沖縄Y村診療所に赴任したところ、そこの村長さんが「高校歴史」の先生だったことを知った。そこで「ヤマトンチュのくせに自分の国の歴史も知らん」と思われちゃイカンと、急いで嘉手納の本屋さんへ行って教科書『高校日本史』を買って時間を見つけて熟読した。その甲斐あってか、村長さんとの会話でも少しは常識不足をカバーできた。

村職員も「出張で萩に行って感動しました」と同じ山口県・下関出身の僕に話しかけてくる。当

方、生まれてこの方、行ったことがないのに。その年の盆休みを利用してソソクサと萩へ行った。せっかくだからと、また、これからホントの地域医療（子供たちよ、あんたらの高千穂や阿蘇は恵まれ過ぎている！）を志す者として、タクシーを飛ばしソノ奥にある“国保・弥富診療所”へお邪魔した。縄田皆夫先生はおられなかったが。

最近はTVの日本史番組として、毎週・水曜の夜にNHK・BSプレミアムの『英雄たちの選択』を見ている。歴史に残る英雄たちの人生における一大転機にどのような決断をするべきであったかの、レトロスペクティブな検討である。司会の磯田道史の腹話術（昔懐かしい川上のぼる！）を思い出させる口を開けないシャベクリも良い。

次に、本会報6月号で長谷川理事の編集後記を読み、この度の“特別定額給付金”の使い道につき、「一市民の選択」はどのようにするかをツリー分析してみた。



思えば、僕も三回ほど人生の分かれ道に出くわしている。そして、それぞれより良い選択をしたんだろう、今現在は一小市民（頭は経営管理の資本家として、手足は職場一番の労働者として、働く）の開業医をやっています。

その一

僕は小学校 5 年次にクラス中の男の子から“イジメ”を受けている。もし、今みたいな陰湿な“イジメ”にあっていたら、その後も尾を引いて“ひきこもり”になったに違いない。昨今問題になっている“8050”の先取りをしていただろう。この事件により、小さいながら①誰でも分け隔てなくつきあうことと②自分の周りをよく見て KY にならないこと、という大人になっても通じる知恵を学習した。

その二

大学入試で失敗し、5 校中でただ一つ、それも最終補欠合格の堅実ではあっても地味な学校に入った。だから手に職をと、アタラ青春時代を公認会計士 2 次試験にかけた。その結果は、延べ 10 回も受けては落ちる無残なもの。生きとし生ける者にとって一番大事な“時間”を“埋没原価”にしてしまった。だけど、あのころは就職試験だって学内推薦が必要故、僕の成績ではリーマンショック時にいち早く倒産した「〇〇生命」相当だったしね。

その三

医学部卒業前にタマタマ行った体研・成人科（現・代謝内科）の説明（宴）会でイイ気分になり、即、入局を決めた。しかし、諸々の事情で、こともあろうにソノ年の大晦日の医局当直を率先して手をあげ、正月元旦に手作り“退職届”を残してトンズラを決行した。昨年、医師道の恩師・故 松田先生が最期となる勤務先病院を訪ねた。そこには何と、唯一の同期入局者・H 君が勤めていた。思い出すダニ恥ずかしかったので、そのまま中へ入らず帰ってしまった。

マア、名もない一市民だって、それなりに『♪人生いろいろ』の場面で重大な選択をしているものなのです。



自分の命の終焉を考えてみる（前編）

宇部市 渡木 邦彦

◆緒言

一等最初に、葬式や死の話をエンギでも無いと思われる方、仏教徒以外の方はお読みにならない方が。でも、孟蘭盆会^{うらばんえ}はもうすぐです。

臨床医の誰もが人の臨死に立ち会ってるとは申しませんが、開業医を含めて、死亡診断書をしたための経験をお持ちの医師は多いと思われます。それでも、死亡診断を終えてご遺体が先生方から離られた後は、当然、お坊様がお出でて枕経をあげ、その後、葬儀を執り行います。此処まではどなたも周知のとおりです。しかし、最近、私の医者仲間や高校の同級生から、「お寺は何宗がいいのか」、「自分が死んだ後はどうしたらよいのか」、との難題を次々と吹っ掛けられること屢々です。そこで、その難問解決のヒントになり得ればと思い、最近、私が知り得たことを文章に記してみました。ご自分の死、そして弔いや葬儀・法要のことに焦点を合わせてみて、知見となれば幸甚です。

死の悼みと悲嘆と祀り

人間とは「一人で生きられない」の文言通り、幼きにおいては親や親戚の影響や育成と教育を受け、成人してからは先輩・同僚に手ほどきを受け、教えられ、老いては、部下や子や孫を育て上げるという一生を誰もが過ごすことになります。これは人間の習性であり、絆^{いにしえ}の中身として古から伝えられ、積み重ねられてきた学びの生きかた方式なのです。もっと言えば、人の生活・行動は、専門職を除けば、成長過程のある時期までは、紛れもなく他人の copy そのものではないでしょうか。這いハイ、ヨチヨチ歩き、お喋り、恋人へのアプローチ法、酒の呑み方など、みんな台詞付きで。

そこで、自分にとって意味のある人、自分の存在を認めてくれる人、いわゆる親を含めて自分に親しい恩人が沢山となるのです。だから彼等が亡くなると、残された者にとって、その悲嘆と悼みの深さたるや、その関わりの密度に間違いなく比例して苦しみ悲しむのです。そして、自分の死も何時かは絶対来るのです。自分の死は知ること無く、他者に葬儀をして葬ってもらうのです。

地球上の高等動物の中で、有史以来、祈りと儀式をするのは人間だけです。これは、人の大脳が発達進化することによって、情動や精神をより人間らしく進化させたものの、「心」の発達が大きいと思います。「こころ」というのは、古代から今日まで、人間の大脳に大部分に依存しているものの、心は脳と違って頭にはない、身体の中のどこかにあると探し続けている著名な哲学者・脳科学者^{あまた}は数多いのです。

私個人としては、脳（大脳）で考える精神機能名を「心」として捉え、そう表現して、解剖学的部位名は存在しないと考えていますが如何でしょう。こう断言すると、遠い過去から未だに「心」を探している偉い脳神経学者や生理学者にお叱りを受けそうです。

そういうことで、人の死の悲嘆と悼みを人はどう収めて、その深みからどうやって平常心^{びようじょうしん}に戻って生活できているのでしょうか。出来れば、その悼みや悲嘆が祈りや儀式で非常に希薄されたのであれば、これを現代人の我々も受け継いでその仕組みを真似ることが是非にも必要だと考えます。この死に関する基本哲学が宗教であり、このご遺体^ごに実存形式を与える手段が葬儀であり、法要として先祖供養に繋がっているのだと考えます。ご遺体（亡骸）はなくなっても死者は実存し続けて

いるのです。それが家族の死者への思いの深さだと思えます。最近、日本仏教には、先祖供養が格式化し、組み込まれているということで、とても成熟した宗教であるとの評価を海外でも受けているようです。

(1) 菩提寺やお墓、先祖供養をどのようにしたらいいのか

我々医師は、親の稼業としての診療承継をしなかった場合には、勤務・開業を問わず、自分の実家（故郷）と遠離れた土地で診療に従事し、そこで停年・引退になると、その業務地へ住みつくケースが多いようです。

殊に、開業医になると、その地へ住みつかざるを得ません。その地へ骨を埋める決心をしたとき、宗派を含めて菩提寺や墓をどのように維持するのか、殆どの医師が考えも至らずに老いにかまけて過ごしてきたのではないのでしょうか。

このことは、私の高校時代の同級生でも似たような経過を辿っているようです。私は長崎東高卒ですが、進学や就職、結婚で長崎を離れ、東京には定年後には 80 人近くが住みつき、長崎東高全体の同窓会も東京同期会も毎年、盛大に開催されております。福岡にも 60 人近くいて、東京同窓会と同じシステムで全体年 1 回、同期年 3 回と、呑んで、喋って、唄って、ワイワイガヤガヤです。故郷を出て死が近づくと、考えることは皆同じです。親元を離れ、その親も居なくなり、今度は自分の番です。何宗がいいのか、お寺は何処がいいのかとの質問を受けます。我々も来年は傘寿です。当然、亡くなった同級生も何人もいます。

宗派は日本仏教であれば、13 宗派存在し、その特徴をチョット嚼かじって知識を得て納得すれば何宗でもよいのです。実家の宗派が解れば、同じ方が馴染み易いと思います。でも、一番の問題は、自分が鬼籍に入った後、お寺や、お墓の守り、法事を誰が引き継いでくれるかということなのです。

夫婦のどちらかが欠けても、残った方が墓守・法事をすれば、子供の代までは何とか維持可能です。要は二人が亡くなった後です。三十三回忌が済むと、お寺としては無縁仏として一ヶ所に収骨

合葬します。

しかし、それまでにお寺の護持会費未納や供養法事を怠り、菩提寺との疎遠期間の長短により合葬までが左右されます。要は菩提寺との繋がりの有無が合葬までの長短を左右することになるのです。

子供達が親と同じ地域に居住していなければ、子の代はまた親と同じ経過を繰り返すことになります。家族一同揃って会議を開いて、そこらあたりをじっくり検討されることをお勧めします。それと、今の元気なうちに先祖供養を子供達と是非始めるべきです。自分たち親の代が先祖供養もしないで、子供達に「俺の葬式と法要、そして先祖供養もちゃんとせにゃ……、オマエ達、バチ当たるぞ」。何ちゅうことを、そりゃ無理というものなのです。これでは子供達は供養はしません。習わぬ経きょうは読みません。自分も散々手抜きしてバチも当たっていないのに、何で子供達だけにバチが当たりますか。こんな出鱈目はありません。

今からでも遅くはないのです。一緒に先祖供養をしながら、先祖の話（先生方の祖父母からで充分です）を子や孫に聴かせるのです。お爺さんはこんな人だった、お婆さんはこんな人だった、と。

(2) 葬式の本質的な意味

日本では、葬式仏教などと揶揄されて久しいのですが、じゃあキリスト教やイスラム教ではどうなのかと申せば、死の恐怖の癒やしや減弱、死後の世界の安穩思想を教えてくれるのが宗教なのです。

だから、どのみち死後には安寧の世界へ届けようとするために、死直後の儀式から関わるのはどの宗教も一致しています。仏教のみが葬式仏教ではありません。最近ではキリスト教も、世界各地で死後の埋葬場所と料金を巡って、葬儀をどの教会にするか等で揉めながら葬式キリスト教の風評に晒されているようです。世界の大宗教の中で、葬儀を取り扱わないという宗教は皆無で、これは宗教ではありません。

身内の誰かが死亡する、またはアカの他人が心肺停止状態に遭遇して、警察・救急車を呼んで、医師が然るべき処置をしたが死亡した。

医療機関や自宅で、医師の救命処置でも蘇生できず息を引き取り、四徴（心停止・呼吸停止・瞳孔散大・意識なし）を確認し、死亡を診断します。此処までは通常の医師の業務です。ここから先はお坊様の出番で、その役割を7世紀ごろから儀式として制度化してしっかり果たしてきていただいているのです。このコロナ禍の中でも同じです。

最初に理解していただきたいのは、死体と死者と遺体は、一人の人間の亡骸^{なきがら}ではあっても、その呼び名とその内容は全く異なっているということです。例えば、「〇〇空港で、旅客機が着陸に失敗し炎上する大事故が起き、多数の死者が出た模様です」の場面での一括りにされた多数の死者には人格はありません。そして、それら多数の死体が、何処のどなたかが判明したら、遺体になるのです。遺体には人格があります。「遺す^{のこ}す」と書く遺体の方は、「誰が遺したのか」に決定的な意味が込められるのです。残した人、すなわち喪主です。それが判明して初めて「死体」に人格が与えられて、「ご遺体」になるのです。そして「このご遺体は確かに死亡致しました」と遺族をはじめとする関係当事者において死亡を決着させるのが葬儀であり、「葬式」の意味なのです。僧侶の執り行う葬儀後、遺体は茶毘に付されて、ついには埋葬（納骨：お墓に入る）されて形は亡骸なのですが、そこから死者としての実存が開始されるのです。

葬儀をすると、遺体は無くなっても死者は無くなりません。そうでしょうか。親が死んでも人間関係は残っているのです。親が死んだ途端に、親がいなくなるという訳ではなく、「貴方は、亡くなられた〇〇さんのお子さんでしょう」とか「故〇〇様のご遺族ですね」と言われて、人間関係の枠組みはきちんと残っていきます。人間関係の枠組みが残る以上はそこに死者が居ることであり、遺族は死者が居るように振る舞わないといけません。こういった、死者を実存させる行為が弔^{とむら}いであり、年忌法要なのです。仏教では、葬儀法要をこのように捉えて祭祀を実行していますのです。遺族はこの法要でどれほど心が和むでしょうか。

ここまで遺体と遺族の人間関係を分析すると、親の築いた人間関係や社会的地位、信用、システム、そういったものが弔い（法事・法要）でさらに強化・維持されていくということなのです。その上、遺族間の絆も深化するのです。法要法事をしないと肉親・親族の絆は日々疎くなってしまいますのです。まさに「去る者日々に疎し」の諺どおりです。無法事は自分で自分の人生の孤立化を強化しているのです。

最近の風潮から、親の遺体^{じきそう}を直葬（宗教者の手で葬儀をしないまま、死の床からダイレクトに火葬場直行です）や荼毘後を散骨で済ませてしまうと、その子の代からは、人の死について、犬、猫、家畜^{たぐい}の類と間違いなく同じだと思うのです。地球上の動物で、有史以前から祈りと儀式を執り行ってきたのは人間だけの行為であり、この儀式手段と祈りを献げるから人間だと言われているのです。大都会の人間砂漠でならいざ知らず、地方都市で、親の死亡（逆縁での子の死亡でも同じ）で葬儀も出さなかったらご近所はどう噂しますでしょうか。噂より己れ自身の心の問題です。自分の肉親の死の祭祀をしないなど。

この事は、日本仏教的解釈をすれば、菩提寺、お墓、過去帳に記された先祖からの繋がりを、墓じまいや散骨で断ち切ってしまって、祀るモノも祀る場所をも放棄してしまったことなのです。ここまで思いが至らない大人（親）は親自身も子にも、先祖教育や親の恩を与えることも無かったのか（こんなことは有り得ないのです。誰もが葬儀をやれる歳まで育てられて来てます）、親が子に注いだ愛情に対し、子が何も感謝することも無く、恩も感じずに自分一人で一生懸命生きてきたと考え違いをしたに相違ないのです。非常に不幸な育ち方をして大人になったのです。今風の言葉で言えば、「今だけ、自分だけ、金だけ^{オカネ}、金を除けば、まさに猿と同じ類い^{いたいけ}です。尊属殺人や親が幼気ない子を虐待死させる、恐ろしい日本の縮図です。しかも日常茶飯事に。

「死者を弔う行為」は有史以前から存在している人間のみの崇高な行為で、弔いや先祖供養をしながら死者の実存感を維持して遺族は生きてきたのです。葬式仏教に込められている弔いや儀式の

意味や意識をしっかり自覚し、その実践維持に努め、大人の我々は子や孫に先祖供養の意義を含めて、しっかり子孫に伝授する義務があるのです。人であることの崇高さのために。

半世紀前頃まで、全国的に高速道路も未開通の時代でさえ、8月の盆休みには、大渋滞の中を里帰りして、墓参をしたものです。日本民族の大移動と称された時代が続き、日本の若者もまだ捨てたモノではないとの評価を受け、先祖供養実践の真最中にあり、仏教の教えはしっかり生きて伝わっていたのです。今も盆の渋滞はあるのですが、祭祀がありません。

葬式、先祖供養は、親である自分が、子に実践行動で示すとか、家族でそのことを談話する体験

が必要です。さらに自分の死と葬儀について、夫婦や子に伝えておく事はとても大切です。「どうせいつかは人間死ぬのさ」などと、さも悟りきったような台詞を口走って、いざとなると何から手を付けるかも知らず、葬儀社任せなのが最近の我々ではないでしょうか。古希近くなって、危ない疾患を^{かす}掠めた人は殊に二人のこと、先祖の話、葬儀の事は子孫と是非相談しておくべき必須事項です。

※後編は次回の特集号に掲載予定です。



ステイホーム型バードウォッチング

徳山 望月 一徳

我が家の庭は、猫の額ほどの広さしかありません。その狭い庭に、2本の成り物の木があります。柿の木と酢橘の木です。

柿の木は、前の住人が植えたもので土地を譲り受けたとき、桃栗3年柿8年と言うから、切り倒すには勿体ないし他に庭木もないので残すことにしました。

秋になると、柿の実が鈴なりです。しかし間引きしないので数が多く、そのせいで実が小さく味も平凡です。だから食べるのはわずかで、採り残したままの柿が秋の終わりから冬にかけて熟した時、ぽたぽたと落ちて庭を汚します。

そんな折に熟し柿を始末してくれるのが、カラスです。カラスも助かるし人間も助かります。

カラスが庭に飛んできて、騒々しいばかりでその上、容姿も悪いし目の保養にはなりませんので嬉しくはありませんが、熟し柿が庭に落ちる数が減るだけでもありがたいのです。

時には雀がやってきて熟し柿を食べてくれますが、カラスがやってくると雀などの小さい鳥は逃げてしまいます。

本当のところは、小さい鳥がたくさんやって来て食べてくれると、姿は可愛いし鳴き声も癒しになり嬉しいのですが・。

酢橘は、家を建てて（昭和59年）間もなくして植えました。同時にみかんの木も植えました。みかんの木は、実が成るには可哀そうなほど丈も低く幹も細い頃、たしか3～4年のうちに実が成ったと思います。

みかんの木を植えたところは、その後に家を改築した時、裏口に通じる階段の予定地になったので、他に移す処もないことから切ってしまいました。惜しいことをしました。

一方、酢橘は、いつまで経っても実がなりま

せん。7年か8年目かにやっと実が附きました。随分長くかかりました。「柚子は9年の花盛り」とか言うので香りの強い果実の木は、収穫まで時間がかかるのかもしれませんが。

酢橘の果汁は、食卓に上り大いに役立っています。

酢橘は、実が青いうちは果汁は少ないが香りがよい。焼き魚によく合います。だから大型店舗では、この時期にお安くはない値段でお店に並んでいます。

鈴なりの酢橘を見上げながら、「おおっ、成るとる、なっとる！」とご機嫌です。人さまにも差し上げて喜ばれております（たぶん）。黄色に熟すと香りは減るが果汁が多くなります。絞って保存すれば季節を問わず利用できます。

その後も毎年よい収穫に恵まれております。ところが何年も経つと人間というものは横着なもので有難味が減り、その上、木が成長して、てっぺんの方は採りにくいなどの理由で、採り残しが増えます。

冬になると採り残した酢橘は、過熟して鳥の餌になります。それでも酸っぱいと思いますが鳥たちは、盛んにつついていきます。

頻繁にやってくるのは、メジロとヒヨドリ（たぶん）です。

『野鳥図鑑』（石田光史 著 2019）によると、「ヒヨドリは全長28センチ。にぎやかで闘争心と食欲が旺盛。かつて都市部では冬鳥だったが、今では一年中見られる。留鳥または漂鳥として全国に分布し、山林、市街地、公園、人家の庭などで見られる。雑食性で昆虫類、植物の実、花の蜜を好む。縄張り性が強い」とあります。

一方、メジロはつがいです。2匹が同時に餌には取り付きません。食べるのはどちらかで、片一方は必ず近くで待機しています。見

張りをしているのだろうと勝手に思っておりますが・。

先の図鑑によると、「メジロは全長 12 センチ。留鳥または漂鳥として全国に生息。冬は暖地に移動し山林、公園、市街地の庭や街路樹でも見られる。雑食性で昆虫類、植物の実、樹液、花の蜜などを好み、舌先が筆状になっている。メジロは密接して枝に止まり、おしくらまんじゅうのような行動をする習性がある。目白押しとは、この習性に見立てて生まれた言葉」とあります。

いまどきは、小池百合子 東京都知事に見つかり、「3 密は回避するように！」と厳しく指導されるに違いありません。

メジロに代わって申し上げます。

「屋外の木の子枝ですから、3 密のうちの密閉はありません」

さて、そこにヒヨドリがやってくると、メジロはパッと逃げます。あとはヒヨドリの独占です。採り残した酢橘は、2 月末頃にはすっかりなくなります。

柿や酢橘がある間は、小鳥たちが来て目を楽しませてくれます。餌が無くなれば、鳥たちは庭にやってきません。さみしいな！

春が来るまでは山に餌がない時期なので、庭に餌付けしたらひょっとしてやってくるかも知れん、と思いつきました。

試しにリンゴを半分に切って酢橘の木に取りつけて見ました。30 分後には、ヒヨドリが来ました。どこで見張っているのか、さんざん独占して食べちらして去っていきます。その留守に、今度はメジロのつがいが出てきます。名前の通り、目の周りがくっきりと白く、体は濃い緑色です。可愛い！

かくのごとく、たったのリンゴ半分ほどで、殺風景な冬の庭でバードウォッチングを楽しむことができるんです。

ヒヨドリは、同一個体のようで、たびたび覗きに來ます。リンゴがない時には定位置の塀に止まって、こっちをじっと見つめます。リンゴをくれ、と催促せんばかりです。

家人は、「わたしらも食べるんじゃないけー、そう

そう気前ようあげられんようね！」(広島弁です)とぶつぶつ言いながら与えておりますが・。

ところが、4 月になってからメジロもヒヨドリもやってきません。そろそろ山で餌が間に合うようになったのかもしれませんが。

そうです。桜が咲く頃は、メジロもヒヨドリも桜の蜜を吸いながらお花見をするようですよ。

#

いま(4 月中旬)柿の木には、新しい葉っぱが芽生えつつあります。

今から遡ること 3 月中旬のことです。カラスが柿の木に止まって、枯れ枝をつついておりました。突然飛び立って行くのを見ると、柿の木の枯れ枝をくわえております。

何度か同じことを繰り返すのを見ました。少し離れた所にもう一羽のカラスがいるのに気づきました。つがいと気づくのに時間はかかりません。

「はっは一ん、巣作りの材料を取りにきたんだな！」

以前、TV でカラスが巣作りに針金製のハンガーを材料にしている見たことがあります。ためしに柿の木にこのハンガーを吊るしてみました。

たちまちなくなります。持って帰るところを見なかったのもう一度吊るしてみました。またもやなくなっています。3 回試みましたが、いずれもなくなりました。きっと巣作りの材料にしたのでしょう。

この近くに針金混じりの巣を作ったにちがいません。見かけたら返すように声をかけて下さい。

こんな他愛もないことでも、野鳥と触れ合うのは楽しい。

世間には、ペットショップがあり小鳥、めだか、金魚など簡単に手に入りますが、庭にやって来る野鳥たちとの交流には格別の趣があるのです。

いまどきの流行り言葉で言えば、ステイホーム型バードウォッチングとでも申しましょうか・。

令和 2 年 6 月 17 日

追記・・・その後、針金製ハンガーは停電の原因になると知りました。今後はカラスにやらないように気をつけます。

天の川

下関市 松原 信行

うつくしや 障子の穴の 天の川

小林一茶の句で、原句は「うつくしや せうじの穴の 天川」です。この句に出会った時期は覚えていませんが、大きな感銘を受けたのを今でもはっきりと覚えています。

天の川を詠んだ句に松尾芭蕉の「荒海や佐渡に横たふ天河」があります。余りにも有名な句です。芭蕉は天空に流れる天の川を雄大に詠み、一茶は切り取られた小さな天の川を詠みました。何れも甲乙付け難い名句ですが、一茶の息遣いや体の温もりが滲み出るこの句に惹かれます。

この句の魅力は「対比」の面白さでしょうか？「行灯の薄明かり」と「漆黒の外界」。「人間の有機的な存在」と「天の川の無機的存在」。「有限の命の一茶」と「無限の時間の流れに浮かぶ天の川」。二つの世界を隔てているのが障子で、繋いでいるのが小さな穴。しかし、この光景を見ている別の一茶が居るような気がします。「障子の内側の現世」と「天の川のあるお浄土」。熱心な浄土真宗信徒だったようですので、この句の底には彼の宗教観が流れている気がします。こう考えると、小さな穴に閉じ込められた天の川がまた一層、輝いて見えます。

障子のある家は今では少なくなりましたが、私が子供の頃にはどこの家にもありました。人差し指で障子に穴を開けて、親からよく叱られたものでした。障子の穴から覗く外の景色は別世界に見えました。恐らく障子を破る感觸と、穴から覗く景色が面白くて悪戯いたずらをしていたのでしょう。

一茶は五十才を過ぎた頃から脳卒中を数回発症したらしく、床に伏せていた時期もあったようです。不自由な体を振って障子に近づき、穴を空けたのでしょうか。口を半開きにして片目を瞋つぶり、

片目を大きく見開いて穴を覗いている顔。そんな一茶が見えるようです。誰かに障子を開けてもらって、天の川を見る手もあったのでしょうか、それでは平凡な句になりそうです。架空の話になりますが・・・、「実は病に伏していたのではなく旧暦の七夕の頃、酒盛りで酔っ払ってゴロンと横になり、酔狂に任せて障子に穴を空けた。」という話にするともっと想像が膨らんで来ます。「内の喧噪」と「外の静寂」と云う対比も加わります。

十七文字で豊饒な世界を紡ぎ出す一茶に、叶うことならお会いしたいものです。

2018年に本県にも縁がある本庶 佑 京都大学特別教授が、ノーベル生理学・医学賞を受賞されました（お父上の本庶正一 教授に、耳鼻咽喉科のポリクリで直接教えて頂いた事を、懐かしく思い出します）。

この話題に刺激されて腫瘍免疫の勉強を始める事に。しかし、これがかなり難解。免疫チェックポイント分子？ CTLA-4 ?? MHC クラス1分子??? 単語の概念が全く理解できません。ならばと、免疫学の本を買い込み、免疫の基礎から勉強し直す事に。しかし、ここにも高いハードルが。読み始めは、「自然免疫を担うのは主に骨髄系細胞（マクロファージ、樹枝状細胞、好中球など）で、獲得免疫を担うのは主にリンパ系細胞（B細胞、T細胞など）、云々」、『フムフム、Ok、Ok、まだまだ余裕、余裕・・・』。読み進んで行くと、「成熟したT細胞は二量体を形成し、細胞表面にT細胞受容体を発現、云々」、『ムムム・・・、何だ？何だ？段々雲行きが怪しくなってきたぞ・・・』。更に読み進むと深い泥沼に嵌まり込み、前に進めません。追い打ちをかけるように老眼で目がショ

ボショボ。50 年前の免疫学は牧歌的でしたが、今では想像を超える速さで進化（深化）しています。綾小路きみまろ風に云えば、「あれから 50 年！時の流れは残酷です！今では……」でしょうか。

しかし、幸いな事に今の時代には「文明の利器」があります。パソコン、インターネット、ブラウザソフト、ノートアプリ、動画サイト等々がそれです。情報空間にあるデータは玉石混淆なので、情報の真偽を確かめる必要があります。しかしながら、解らない単語や専門用語は、辞書や専門書を開かずに調べられます。小さな文字や図表は拡大鏡を使わなくても、モニターの拡大モードで見られます。写真やイラストも検索をかければ沢山ヒットし、サイトによっては 3D 画像にもなっています。生理学や解剖学等では動画になっているものもあります。図表や画像の選択もショッピングで品定めをしているようで、楽しいものです。学生時代にこのような文明の利器があったなら……、と残念でなりません（もっと授業の理解が出来て、もっと勉強もしただろうに）。しかしながら、内なる天の邪鬼がニヤリと嗤い「お前さんのことだから、これで勉強の手抜きをもっとやるぜ」と呟きます。

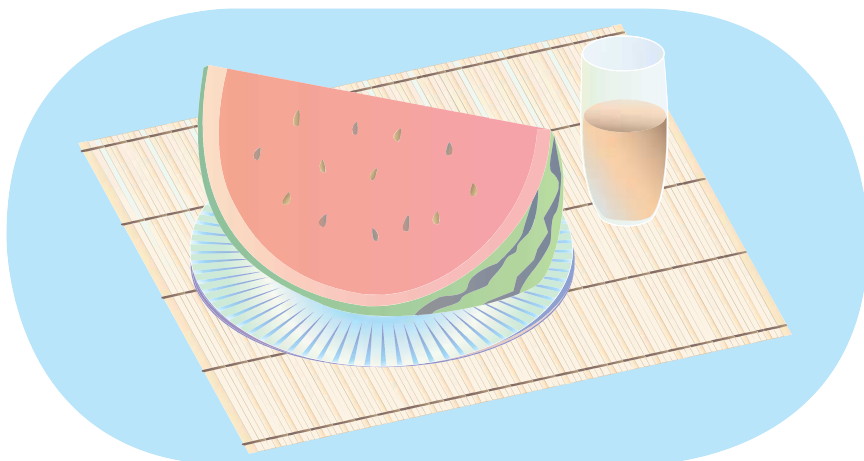
Web 環境で得たデータを自分のものとして公に出すと問題ですが、自分の勉強のために利用するのなら何ら問題はありません。態々買った専門

書を「文明の利器」に替えて、老眼を擦りながら、認知機能の落ちた頭を叩きながら、匍匐前進です（この学びには終了試験もありませんし、時間制限もありません）。

知識が膨らんでくると、臆気ながらその全体像が見えてきました（T 細胞は様々なレセプターを持ち、様々なサイトカインで修飾され、樹枝状細胞や B 細胞と複雑に連携している、云々）。知れば知る程、免疫系の複雑さや精緻な営みに驚かされます。また色々な疑問も湧いて来ます（何故、沢山のサイトカインが必要なのか？細胞表面のレセプターの発現はどのような機序なのか？等々）。これまた知れば知る程、謎は深まるばかりです（推理小説より数倍面白い）。更に知識を広げていくと生化学や分子遺伝学などとも、深い関係があることが解るようになりました。（これらの分野も知見がどんどん進化しています）。免疫に関わる細胞の内外では日々、壮大なドラマが繰り広げられているようです。

自分の専門分野とは少しかけ離れた分野ですが、これからも首までドップリ浸かって愉しみたいと思います。毎夜パソコンの小さな画面を覗いて、免疫学と云う「天の川」を見えています。

生命の営みはなんと精緻で、うつくしや。



国譲り

山口大学 しまふくろう

医学生の時、知り合いから車検切れ前の“ブタ鼻”ホンダ シビックを安く譲ってもらった。その春休み、さっそく中国地方一人旅を車中泊で挙行した。まず向かったのが出雲で、夕方に着き、大社に参拝後、その駐車場でシュラフザックに寝た。翌日は白兔海岸などを見ながら鳥取砂丘で遊び、その駐車場で寝た。夜間に暴走族らしいバイクの音がうるさく安眠を妨げられた。次の日は福知山市から京都市内に入った。二条城の前の駐車場に車を止め、市内見学を行った。たまたま南座で、酒井和歌子と松本幸四郎 主演の三島由紀夫原作「春の雪」が公演されていたため、大枚をはたいて楽しんだ。その二条城の前で2泊した。そして国道2号線を西行、ゆっくりと宇部へ帰った。

オオクニヌシが鎮座する出雲大社の前で無断で寝ていたにもかかわらず、オオクニヌシは怒ることもなかった。同級生に独特な発語をするN君



オオクニヌシ

がいた。彼の言葉は、僕にとっては初めて耳にする言語であった。出雲地方の言葉だと知ったのは、しばらくしてからである。なぜ、その地方にこのような独特な言語が息づいているのか。興味深かったが、それ以上探索はしなかった。この言語について再び考え出したのは、古事記に描かれた「オオクニヌシの国譲り」の物語を再読してからである。この物語は、いつ読んでも胸が締めつけられる。

古事記によると、国譲りの物語はオオクニヌシ（大国主）によって治められ、にぎわって穏やかな暮らしが長く長く続いていた葦原の中つ国に、ある時突然に高天原を治めるアマテラス（天照）が、「豊葦原の千秋の長五百秋の水穂の国は、わが御子マサカツアカツカチハヤヒアメノオシホミミ（正勝吾勝勝速日天之忍穗耳）の統べ治める国でありますぞ」と言って、わが子アメノオシホミミを高天原から中つ国に降ろそうとしたことから

始まる。二度の地上征服失敗のあと、アマテラスはアメノトリフネ（天鳥船）をタケミカツチ（建御雷）に副えて、葦原の中つ国へ派遣した。

遣わされた二柱の神は出雲の国の伊耶佐いざさの小浜おばまに降り立ったのだが、この時のタケミカツチの威丈高な振る舞いは凄まじい。その身に佩いた十掬の剣を抜き放ち、波の上にその剣を逆さに立て、その剣の切っ先にあぐらをかいて座り、オオクニヌシに言い放った。原文にはこうある：

「天照大御神、高木神之命以、間使

之。汝之宇志波祁流葦原中國者、我御子之所知國、言依賜。故、汝心奈何」。

恫喝である。

これに対しオオクニヌシは、「僕はお答えすることができません。僕の息子のヤエコトシロヌシ（八重事代主）がきっとお答えするでしょうが、彼は鳥をとり、魚をとって、御大の前（美保の岬）まで行っていて、まだ帰って来ておりません。」と答えた。

そこでアメノトリフネを遣わして、ヤエコトシロヌシを呼び出して聞いてみると、彼は父のオオクニヌシに向かい「恐れ多いことです。この国は、天つ神の御子に奉りましょう」と答えると同時に、すぐさま乗ってきた船を足で踏みつけてひっくり返し、青柴垣（柴で作った神を祀るための空間）を作って逆手（甲の部分で手を打つこと）を打ち、自ら覆した船の中に隠れてしまった。ヤエコトシロヌシは腹わたが煮えくり返るほど悔しかったのだろう。タケミカヅチを見ることなく、父にのみ向かって答え、自らの神の聖域をこしらえて逆手を打ち、呪詛したあと自殺した。

さて、そこでタケミカヅチはオオクニヌシに向かい、「いま君の子コトシロヌシはこの国を奉りましょう、と申した。他に何か言いそうな子はおるのか？」というと、「もうひとり、わが子タケミナカタ（建御名方）がおります。その子を除いてはかれこれいうものはおりません」と、オオクニヌシは答えている。

そうこうしているうちに、そのタケミナカタが千人引きの大岩を、手の掌で軽々と持ち上げてやってきた。「いったい誰がわしの国にやって来て、こそこそと妙な話をしておるのだ。それならわしと力競べをしようではないか。わしがまず、お前の手を掴むことにしよう」と、挑んでいったらしい。ここでタケミカヅチの本性が出た。その手はたちまち氷柱に変わり、すぐ剣の刃へと変わった。タケミナカタの手をつかみ潰し投げ倒したので、タケミナカタは恐れをなして逃げた。タケミカヅチは追って行き、とうとう科野（信濃）

の国の州羽の海（諏訪湖）で追いついた。殺そうとすると、タケミナカタは命乞いをし、アマテラスのご命令に従って、今後は決して背かない、と誓っている。

それで、タケミカヅチは再び出雲に飛び帰ってオオクニヌシに問うた。「君の息子どもは天つ神のお言葉通り背かぬと契りをいたした。そこで改めて問うが、君の心はいかがか？」と詰問した。すると、オオクニヌシはタケミカヅチに向かって次のように返答している。ここは重要であるので、原文を記す：

「僕子等二神随曰、僕之不違、此葦原中國者、随命既獻也。唯僕住所者、如天神御子之天津日繼所知之登陀流。天之御巢而、於底津石根宮柱布斯理、於高天原氷木多迦斯理而、治賜者、僕者於百不足八十垺手隠而侍。亦僕子等、百八十神者、即八重事代主神、爲神之御尾前而仕奉者、違神者非也。」

そう言ったあと、オオクニヌシは出雲の国の多芸志たぎしの小浜おぼまにタケミカヅチを天つ神の使いとして迎えるための館を作り、ご馳走を作り供えてもてなした。そのあと再びオオクニヌシは服属の証の誓いの言葉を唱え上げた。原作はここまでだが、本居宣長はこのあとに、「乃ち隠りましき」という言葉を補っている。隠れるとは死ぬことであり、おそらくその海で入水したのだろう。そして、その死者のためにいとも壮大な宮が、彼らを殺した敵自身の手によって、オオクニヌシが入水したその場所に立てられたのである。すなわち、出雲大社である。

この誓いの言葉を聞いたタケミカヅチは、高天原に帰り登って、アマテラスともろもろの神たちに、葦原の中つ国を言向け鎮めたさまを、こと細かに報告したようだ。

この古事記に書かれた国譲りの神話をぼくたちはどう見たらいいのか：

1. スサノオが始め、その子孫のオオクニヌシが治めていた古代出雲の国は、新興大和朝廷に匹

敵するほどの国であつたらしいこと。そして古代出雲の国は青銅器王国であつたらしいこと。これは1984年に荒神谷遺跡で358本の銅剣、6個の銅鐸、16本の銅矛が発見され、さらに1996年、加茂岩倉遺跡において銅鐸39個の出土によって確認された。この銅剣の数は、それまで知られていた銅剣の数とほぼ同数で、銅矛の数は10分の1であるが、一度に16本も発見された例は無いらしい。銅鐸についても、鳥根県は以前出土したものと合わせ47個を有し、日本一である。

2. この古代出雲の国は、紀元1世紀ごろのオオクニヌシ政権崩壊後も古事記が書かれた7世紀ごろまで細々と存在していたらしいこと。なぜなら、出雲大社の神殿建築は技術的にみて、仏教伝来後の寺院建築に影響を受けたものと思われるからである。宗像大社を見ても分かるが、そもそも神道は自然崇拝で、沖ノ島がその御神体であり、建築物では無かった。
 3. 出雲王朝の支配地域は越の国やヤマトを含む列島のほぼ三分の一を占め、東は諏訪湖辺りまでであつたらしいこと。そこはオオクニヌシの息子タケミナカタが統治していた。それより東は蝦夷^{えみし}の国であつたのだろう。諏訪神社の「御柱の祭り」も、その来歴については示唆に富んでいる。
 4. オオクニヌシの国は稲作農業に、稗、粟農業も盛んであつたらしいこと。それに対し、アマテラスの子孫の国は稲作農業と養蚕に限られそうなこと。昭和、平成の両皇后も宮中で蚕を飼っていたのは象徴的である。
 5. オオクニヌシと有能な参謀スクナヒコ最大の功績は、この列島に医療をもたらしたこと。そのひとつに玉造温泉を用いた温泉療法がある。
- 他にもいろいろあるが、今回はここまでとしよう。



古代の出雲大社

オオクニヌシよ、あなたは悔しくないのか。息子を殺され、国はとられ、自らも海に入った。

あなたの罪はそのやさしさにある。

先日、泌尿器科学会が東北仙台で開催された。仲間とホヤを食べに街に出たとき、背後の方から聞き覚えのある言葉が聞こえてきた。咄嗟にN君がきているのか、と思った。この時突然、古代出雲の人々はこの人々ではないか、と根拠もない考えが浮かんだ。

なぜかこのような夢想をすることが最近多くなった。学生時代に大社の前で寝ていた時に、ひょっとしたらあなたが囁いたのか？

参考資料：

1. 「古事記」 倉野憲司 校注 岩波文庫
2. 「口語訳『古事記』」 三浦佑之 訳・注釈 文藝春秋社
3. 「神々の流竄」 梅原 猛 著作集8 集英社
4. 「葬られた王朝—古代出雲の謎を解く—」

梅原 猛 新潮文庫

イラスト：司馬さやか

エアラインパイロットになるには

徳山 新川 邦圭

我が子のお受験シリーズ最終回です。昨年は、大学受験を控えた息子のセブ島への語学留学の準備編について書きましたが、ようやく長い受験生活も終わり、この春から無事に大学生となりました。とは言っても、多くの先生方のご子息のような医学部ではなく私立大学のパイロットコースに進学しました。

パイロットは、医師になられた先生方でも一度は憧れたことあるのではないのでしょうか？私もそうでしたが、私が受験生の頃はパイロットへの道は今よりも険しかったです。しかし、日本でも団塊世代のパイロット大量退職と、昨今の世界的な航空需要の増加でパイロット候補生の需要が激増しました。

以前は、主に 4 年制大学を卒業して ANA や JAL などの大手の航空会社のパイロットの自社養成の募集に応募するか、高校卒業後に大学などで 2 年以上を過ごし必要な単位を取った後に航空大学校に入学して 2 年間の訓練をするという 2 つの方法ぐらいしかありませんでした。当然どちらも倍率が高く狭き門でしたし、高校卒業後すぐにパイロットを目指して操縦訓練を受けられるという環境ではなかったわけです。そこへ、2006 年から私立大学がパイロットコースを次々と開設しました。現在、そういった大学が全国で 7 校（東海・桜美林・法政・崇城・第一工業・千葉科学・工学院）ありますが、実機による操縦訓練が必要なこともあり各校とも定員は少なく 1 校当たり 10 名～50 名ほどで 7 校合わせても 200 名もありません。しかも 4 年間の授業料＋訓練費だけでも 1,500～2,600 万円ぐらいかかりますので、この高額な訓練費用がネックとなり、当初はなかなか受験者が増えなかったようです。しかし最近では、私立大学

のパイロットコースを対象とした奨学金制度も充実してきており、知名度も上がり年々難しくなってきました。

大学のパイロットコースは、在学中に自家用操縦士、多発限定資格、事業用操縦士、計器飛行証明の 4 つの操縦士資格を取ることになります。それによって、航空会社への就職以降の訓練期間を短くすることができ、航空会社が負担する訓練費用も節約できます。もちろん、これらの資格があれば、すぐにエアラインパイロットとして乗客を乗せて飛行機を操縦できるわけではなく、さらに定期運送用操縦士の資格を取り、航空機の機種ごとの形式限定の資格も取得する必要があります。

パイロットコースの受験事情は、一般の大学受験とは大きく異なります。私が思うにパイロットになるために大切なのは、一に健康、二に操縦センス、三に学力（特に英語）です。いくら東大を現役で合格する秀才でも、健康と操縦センスも兼ね備えておかないとパイロットにはなれません。

第一の健康については、パイロットは仕事を始めてからも毎年、人間ドックよりも厳しい航空身体検査があり、それに合格し続けないと飛行機を操縦できません。ですから、健康管理はとても大切です。薬なども服用して良いものが決められています。ちなみに視力については、以前は裸眼で視力が良くないといけませんでした。最近では緩和されて眼鏡でも OK になっています。しかし、度数の上限などがあります。

各大学の入学試験では一般的に、受験の条件として航空身体検査 1 種合格と英検 2 級相当（TOEIC や TOEFL 等でも可）の英語能力証明を求められます。航空身体検査ができるのは山口県

からだが一番近いのは小倉記念病院です。この検査を pass できなければ受験できませんので、パイロットへの道は諦めて他の道を考える必要があります。費用は4万円ぐらいかかり高校2年までに健診を受けても、受験用には高校3年生の4月以降に再検査する必要がありますが、他学部とは全く違った受験対策になりますので、早めに進路を確定する上で、パイロットを目指すのであれば事前に一度検査することをお勧めします。

受験の為の英語能力証明には、息子には英検よりも TOEIC を主に受けさせました。理由は英検だと高校で団体受験することができて楽ですが、年に3回しかチャンスがありません。TOEIC は、ほぼ毎月どこかで開催されているので受験機会が多く、進学後に海外で操縦訓練を行う際の渡航条件や最終的に航空会社への就職の際に必要な英語力の評価が TOEIC を基準にしていますので、早くから TOEIC に慣れておく方が有利だと考えたからです。ただ、TOEIC の欠点は英検よりも受験料が高いことと、山口県内では周南市には試験会場はなく、一番開催が多い山口市でさえ隔月ぐらいで、それ以外は広島まで受験に行く必要があることです。

第二の操縦センスは当然必要で、大学や航空会社での訓練の過程の実習でも操縦チェックを順調にクリアできないと eliminate されます。要するに訓練の脱落者となりパイロットへの夢を途中で閉ざされます。ただ eliminate については、シビアな大学もあれば、なるべく eliminate しないということを売りにしている大学もあります。パイロットコースを卒業できても操縦がうまくなければ、就職時に困るわけで eliminate しないというのが必ずしも良いというわけではありませんが、どの大学や学部に進学するかにかかわらず、実際にオープンキャンパスに行かれてしっかりと情報収集をすることは大切だと思います。

大学の受験当日にはペーパーテストや面接などに加えて、2次選考として FTD（フライトシミュレーター）を使った操縦適性検査を課している大学が多いです。パイロットになるのですから、操縦適性検査は重要な受験科目の一つだというのが当然だということは理解していただけたらと思います。

しかし、実際に受験した息子に聞くと受験会場ではほとんど FTD に触ったことがなさそうな受験生が結構いたというのは驚きでした。一般的に教官は操縦試験では絶対的な操縦技術のうまさではなく、与えた課題を繰り返すごとにうまく出来るようになるかを見ると言われていますが、事前に操縦訓練をして FTD の使い方を知っている受験生の方が有利なのは言うまでもないと思います。オープンキャンパスでは FTD で離陸や着陸などをさせてくれましたが、実際の入学試験では素人相手ですので高度な操縦技術を見るのではなく、指定した高度をしっかりと維持できるかなど、指示した方位にスムーズに旋回できるかなどの単純な操作や、操縦中に別の質問しても混乱することなく指示通りの操作ができるといったマルチタスク処理能力などのチェックをされたそうです。通常は FTD の操縦でも、操縦桿の他に、ラダー（方向舵）というフットペダルや、車のアクセルにあたるスロットルなど色々な物を同時に操作しますが、受験時の操縦試験では初心者ですので操縦桿だけの操作だったそうです。しかし、操縦桿だけといっても、計器の見方などを全然知らない受験生が初見でうまく操縦できるはずがありません。当然、最低限の知識と慣れは必要だと思います。この操縦試験対策をしっかりしようと思えば、都会なら FTD を使用して操縦を指導してくれる施設がいくつかあります。わが家も高校一年の夏休みに東京の施設に連れて行って一度だけ操縦適性チェックをしていただき、「操縦センスはあるから問題ないと思うよ」と教官に褒めていた



オープンキャンパスでの FTD 実習

だき、自信をつけて本格的にパイロットコースを受験する準備を始めることになりました。ただ、山口県に住んでいて何度も都会まで操縦訓練を受けに行く余裕はさすがに受験生には無いので、私がパソコンを買ってきて FTD 環境を自宅に構築しました。飛行中の高速な演算処理ができる高機能パソコンを使い、操縦桿やラダーなどのパーツも別に購入して自分でシステムを組み上げました。そして、「フライトシミュレータ X」というソフトを購入して FTD として動くようにしたのですが、解説書などはついておらず、実際の操縦となると手順が多いこともあり、素人向けの参考となる本もあまり売っていないので、離陸から着陸までとなると最初はなかなかうまくいきません。そこで、『パイロットストーリー』というナビゲーション付きのソフトを使って一通りの操縦について、まずは練習してから、『フライトシミュレータ X』に戻って操縦訓練を再開しました。

これに加えて通常の受験のための学習もしていくわけですから、一般の受験生よりもやらなければいけないことはたくさんあります。

あと、航空大学校などは募集要項にも書かれていますが、訓練の初めは教官と一緒に飛行しますが、その後にソロ飛行をするには『航空無線通信士』という免許を取得する必要があります。これがないと操縦訓練が進みませんので一定の期間に免許が取れないと退学となるのですが、8 月

と 2 月の年 2 回しか受験機会がありません。進学後にはかなり必要な資格ですし、大学の出願書類の『持っている資格』の欄にも記載できますので、息子には受験勉強と併行して準備をさせて大学の出願前には免許を取得できました。内容は 4 分野に分かれていて、『法規』、『無線工学』、『英語』と『電気通信術』です。『法規』、『電気通信術』は高校生でも覚えれば簡単だと思いますが、『無線工学』の電気回路などは難しい内容も有りますし、『英語』の単語は航空専門用語が多い上に航空業界の知識がないと解けない問題も多く、合格には英検で準 2 級以上＋航空知識が必要と言われています。

この航空無線通信士を受験してからは操縦だけでなく航空無線にも興味を持ち、レシーバーを購入して空港に行った際には、パイロットと管制塔との交信である ATC（航空管制交信）を聞くようになりました。高校一年の時にグアムに行ったときには、息子にセスナの体験操縦をさせましたが、航空に関して色々な物に興味を持ち実践することによってパイロットになりたいというモチベーションを保っていくことが、受験やこれから始まる厳しい操縦訓練を乗り切るために一番必要なのだと思います。現在は、新型コロナウイルスのおかげで航空業界も大変な状況ですが、幸いなことに海外での実機訓練や航空会社への就職活動までには、まだ時間がありますから途中でくじけずに最後まで訓練をやり終えて無事にエアラインパイロットになるという夢を叶えて欲しいと思います。



自宅の FTD（左下がラダーペダル）



グアムでセスナを操縦中の息子（左）

俳句ギャラリー

ふしの句会（山口市医師会）

梅雨もよう忘れついでの相傘に
鯉浮き時期尚早と自粛せり
螢ゆくいづれの世の火とも覚え

杉山元治

正論は融通利かぬ蝸牛
医療界オールジャパンの走馬灯
短夜のドアーズ詩集一人酒

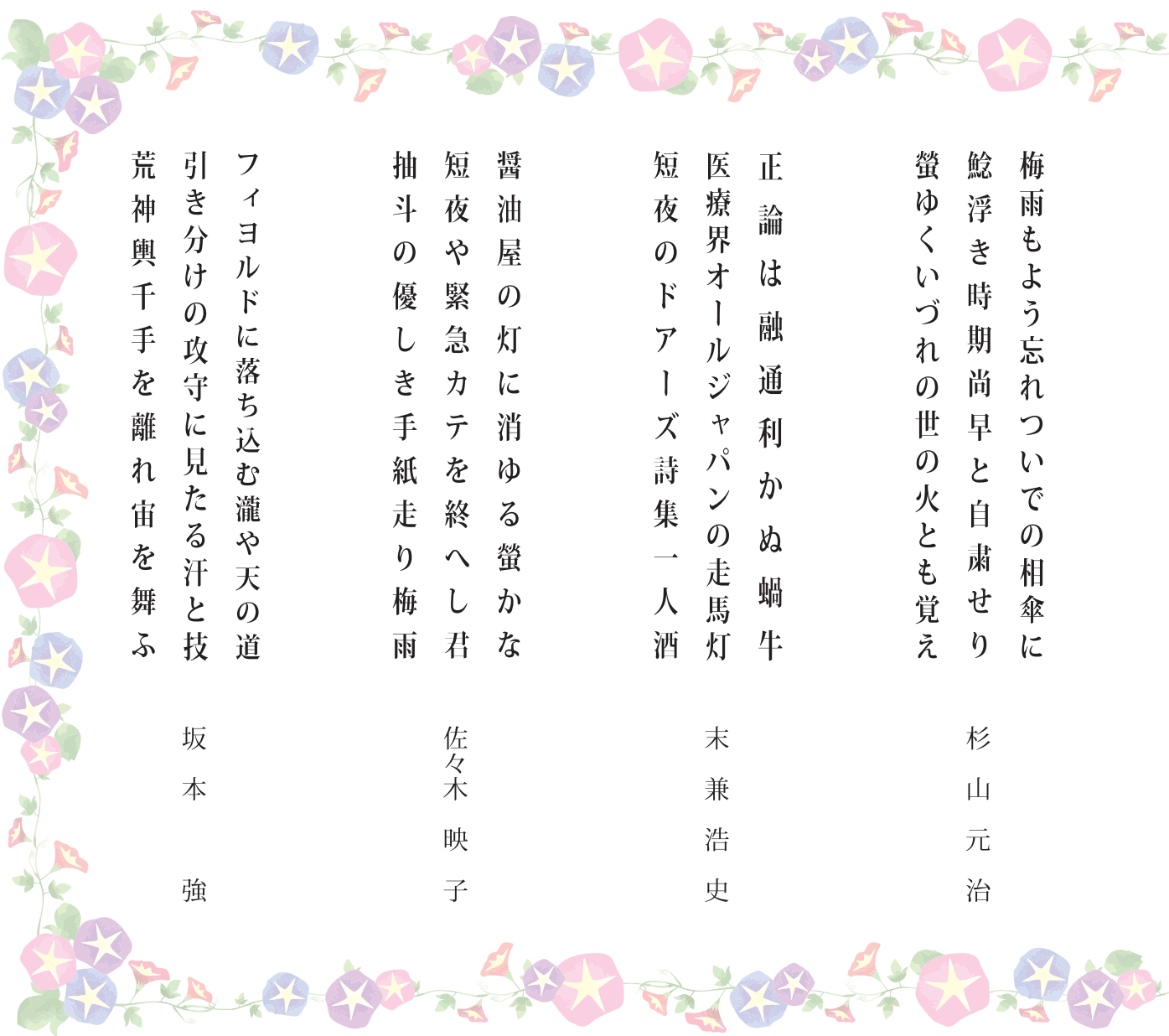
末兼浩史

醤油屋の灯に消ゆる螢かな
短夜や緊急カテを終へし君
抽斗の優しき手紙走り梅雨

佐々木映子

フィヨルドに落ち込む瀧や天の道
引き分けの攻守に見たる汗と技
荒神輿千手を離れ宙を舞ふ

坂本強



俳句ギャラリー

ふしの句会（山口市医師会）

雨音の他に音無し梅雨湿り
短夜や早も来鳴きぬつがひ鳥
衣替へ風滑り去る袖の中

成
重
隆
博

裏交差刹那逆胴花石榴
打突後の鏝迫り合ひや青葉風
面打ちて肩に残心風光る

淵
上
泰
敬

植田より数多の命溢れ出づ
若葉風マスクから漏る感嘆符
枯れてなほ向日葵立ちて日に向かふ

今
村
孝
子

四国八十八ヶ所お遍路の勧め — 遍路大使になって —

防府 山下 哲男

2018年5月19日に「貴方は四国八十八ヶ所歩き遍路約1,200kmを完歩され、四国の自然、文化、人との触れ合いを体験されたので、これを証すると共に、四国遍路文化を多くの人に広める遍路大使に任命致します。」とお遍路大使任命書とバッジを頂いた。思い立ってから2年半、歩いた日数は延べ39日であった。それでは徒然なるままに書いて、遍路大使の役目を果たしたい。

四国の自然

徳島（発心の道場）の自然：徳島は発心の道場と言われており、心を試される。それは遍路道に遍路ころがしという難所があるからである。11番札所 藤井寺から12番札所 焼山寺に向かう昇り下りのきつい、道幅も狭くて転げ落ちそうになるところである。私は一人歩きをしたので、何かあっ

てはと思い、お遍路さんの多い、ゴールデンウィークを選んでチャレンジした。あとで筋肉痛に悩まされたが、制覇した時の達成感は大きかった。20番札所 鶴林寺と21番札所 太龍寺を通るルートは第2の遍路ころがしになっている。こちらも2回の山越えである。蟬の多さに驚き、随分と長く雨が降っていないのに川の水量が多く、山の保水力の大きさに想いを致した。

お遍路を春に始める人が多いが、12番と13番の途中にある神山町の枝垂れ桜は綺麗。11番 藤井寺はその名の通り、藤の花が見どころである。花へんろでもある遍路道では季節季節の花を楽しめる。ウグイスやホトトギス、小綬鶏（ピープファイと鳴く）などの鳴き声も楽しめる。

徳島県最終札所を過ぎて、鯖瀬というところから見た「だるま朝日」は忘れられない。写真を撮りに来られた人とたまたま出会い、絶好の場所での体験となった。毎日、日の出が1分ずつずれて、場所も少しずつ動き、ただ海と朝日だけでなく、島とのバランスが良いところが、良い写真になるということであった。晴れ過ぎても見えないし、雲が多くても見えないとのことで、3年に一度しか見えないというものに遭遇させていただいた。室戸岬までの遍路道は札所がなく、どうしようと寝ながら考えていて、朝日を見ながら歩こうと急に思い立ったのが、ご褒美付きになった。

高知（修行の道場）の自然：何と言っても太平洋。地球が丸いことが分かる。室戸岬に向かう海岸は波の音が大きく、海の中で岩が擦れる音（どこかで爆竹でも鳴っているのかと始めは思った）が聞こえる。世界ジオパークに認定されており、海からすぐに立ち上がった陸地と台形の平地が見られる。この急激に立ち上がった台地の下方に御厨人窟がある。この洞窟の中から空と海を眺めて、弘法大師が空海と名乗るようになったことに思い



お遍路任命書とお遍路バッジ

を馳せるのはお勧め。土佐湾では全長 4 km にも及ぶ大きな砂浜（琴ヶ浜）があり、足摺岬に向かう途中の大岐浜は遍路道にもなっている。仁淀ブルーの仁淀川、最後の清流と言われる四万十川。竜串海岸の奇岩は見逃せない。室戸岬や足摺岬からの絶景、32 番札所 禅師峰寺の奇岩とそこからの太平洋の眺めはお勧めで、何度行っても気持ちが良い。

愛媛（菩提の道場）の自然：瀬戸内海の海の穏やかさと島々の配置に絵画を見る気持ちになる。柑橘類の山々も和ませる。高知県と愛媛県の境に松尾峠がある。純友城址があり、そこから宿毛湾が一望できる。峠越えなどきつい道を選ぶと大抵ご褒美がある。ここでは自分が殿様になった気分も味わえた。平地に降りてきて愛南町外室手というところで見た夕日は素晴らしかった。60 番札所 横峰寺では雪の参道も美しく、45 番札所 岩屋寺では紅葉が美しい。お寺の背景が岩山になっていることも多い。長い年月が経ったために木が大きく生い茂り、岩山の威厳を感じにくくなっているが、建設当時は木もなく、威風堂々とした岩山を背景にお寺が立っていただろうと想像している。岩山には多くの穴があり、修行の場所としていたこともわかる。また、磨崖仏といって、岩壁に仏を彫っているところもある。西日本最高峰石鎚

山（標高 1982 m）を臨むこともできる。

香川（涅槃の道場）の自然：うどん県。南風が高知と徳島、徳島と香川にある山に遮られて、水分を失い、雨の少ない県になっている。雨が少ないため、稲作よりも麦作に適している。高知では稲穂が揺れていたが、香川では麦が揺れていた。気候がうどん県を生んでいることが実感できる。雨が少ないので、ため池が多い。空海が満濃池を作ったというの也有名である。80 番札所 国分寺から、81 番 白峯寺、82 番 根来寺のある五色台という山は、また歩いてみたい昔ながらの遍路道である。屋島は源平合戦でも有名である。87 番 長尾寺から結願の 88 番札所 大窪寺に向かう女体山越えはお遍路の締めくくりにぜひ挑戦したい。歩きながら今までの道のりがひしひしと思い出される。

四国の文化

徳島の文化：阿波踊りが有名だが、阿波踊り会館の前を歩いて雰囲気だけ味わった。「^{うだつ}卯建が上がる」の卯建があるうだつの町並みは美馬市にある。藍住町という町名にみられるように徳島は藍染めが有名である。ジャパンプルーと言われる色が出せる。食では阿波和三盆という高級砂糖がある。降水量が少なくサトウキビの栽培が薦められた産物である。徳島にはゴリ出汁のたらいうどんがあ



だるま朝日

る。このゴリという魚の獲り方が無理やり獲るイメージがあることからゴリ押しの語源になっている。吉野川の支流には鮎喰川があるくらいだから、やはり鮎も外せない。サツマイモの品種に鳴門金時がある。お土産には鳴門金時で作られたお菓子が美味しく値段も手頃である。

高知の文化：坂本龍馬、吉田 茂、板垣退助、岩崎弥太郎、ジョン万次郎など著名人が多い。徒然草の紀貫之も高知に住んでいたことがある。土佐くろしお鉄道のごめん・なはり線の列車や駅には、やなせたかしさんのアンパンマンのキャラクターが使われている。よさこい節の「はりまや橋で坊さんかんざし買うを見た」は31番札所 竹林寺の僧侶の話である。冬にアーケード街の地べたに炬燵を並べて、見知らぬもの同士で会食している光景を目にして驚いた。金目鯛、クジラ、カツオのたたき、清水サバ、四万十川のうなぎ、かに、土佐文旦など美味しいものたっぷりである。鯉のタタキをお屋に食べた後、歩き始めると、食べ過ぎていて苦しかった。できれば歩き終わってから食べるのがお勧め。サツマイモを細長く切って、海岸のコンクリートの上に並べて干しておられた人がいた。お餅をつくときに混ぜ入れて芋餅（かんぱ餅）にして食べる風習がある。

愛媛の文化：正岡子規に代表される俳句。種田山頭火は防府市生まれであるが、お遍路をして、松山市の一草庵で生涯を閉じた。柏坂遍路道は童謡詩人 野口雨情の歌碑が沢山並んでいて楽しみながら歩くことができる。砥石の原料から生まれた砥部焼、宇和島の闘牛もある。道後温泉は遍路道が通過するところにあり、是非入浴したい。愛媛といえば温州みかん。伊予柑、ポンカン、デコポン。温暖化したために河内晩柑（愛南ゴールド）などの柑橘類が増えている。宇和島のじゃこ天、鯛一匹丸ごと入った鯛めしもお勧めである。

香川の文化：弘法大師の生まれた県である。誕生地の75番 善通寺は大きく、幼い大師がその下で遊んでいたという大楠がある。戒壇巡りすると再現したという大師の声が聞ける。屋島の源平合戦はあまりにも有名。その麓では、那須与一が扇的を射抜いたとされる駒立て岩も残っている。73番札所 出釈迦寺近くでは、山頭火の「山

あれば山を見る」という句碑や与謝野晶子・鉄幹の記念公園もある。香川といえば、何と云ってもうどん。いたるところにうどん屋さんがある。村上春樹氏が香川県のうどんを取り上げたことで火がついたという話がある。国分寺近くの山下うどん店には村上氏の色紙が飾ってある。中野うどん学校ではうどん作りの体験もできる。災害時の差し入れや復興にも役立つので、手作りできるようにしておくこともいいかもしれない。

人との触れ合い

お遍路では、お接待に接することで人の優しさ、温かさを感じて癒される。“接待”と“お接待”は違うという。前者は見返りを期待しているが、後者は見返りを期待していないものとされている。歩いていると、急に自動車が停まって、「お遍路さんお接待」といって、飴の入った袋をいただいたこともある。お遍路のおやすみスポット（遍路小屋やお接待所）がある。屋根付きで腰をかけて休める。また、大きいところでは、コーヒーや水、飴玉、柑橘類が置かれていることもある。曜日限定で地元の人がお接待所を開いて、お話や食事を提供してくれる場所もある。7月の暑い時期に13番 大日寺を出発して17番 井戸寺で歩き終えたところ、女性から声をかけられ、お接待ですと言って、冷たいキュウリ、コーヒーを頂いた。足を揉みましようかと言われたが、それは遠慮した。高知までの難所や水の用意、100円カップでは風雨に耐えられないので、しっかりしたものが必要とのアドバイスもあった。後日、理髪店の方が毎日、手水舎のタオルを洗濯して、お接待として活動いただいていることも知った。

交通の便が良くなって、民宿、遍路宿は随分と少なくなったが、頑張って守っていただいているところもある。66番 雲辺寺と67番 大興寺の間にある青空屋さんに予約なしに無理を言って泊めていただいた。すべてが清潔で、湯船も大きく本当に気持ち良かった。出発時には「お接待」と言って、お昼用にと、おにぎりを頂いた。

四国の方はお遍路さんに優しい。昔は物乞いの人に早く去ってもらいために物をあげていたということもあったようだ。また、自分の悩みをお遍

路さんに託して持って行っていただくということや、自分がお参りに行けないので代わりに行ってもらうなどもあるようだ。最近では人に施すことによって、自分の精神を豊かに保っている人もおられる。四国にはお遍路文化が根付いていて、道に迷っていると誰かが教えてくれる。それも早めに教えてくれた。曲がり角を間違えていた時に、その場所まで案内してくれた方もおられた。ある人は雪の中で遭難しかかった時に偶然若い人たちが通りかかって命拾いをした経験をされた。自分だけで生きているのではないこと、自分を助けてくれる世の中があることを経験できる旅がお遍路にはある。

お遍路に出るきっかけ

人それぞれ。うつ病に効果があると回っている人もいる。若い人では自分探し。お遍路文化に興味を持って訪れている外国の方も増えている。お遍路巡りをする旅番組で、女性がお寺にお参りするときだけ白装束、歩くときは派手な服装で、行く先々で美味しいものを「おいひー」と頬張るのを観て、これなら私もやれると始めた人もいる。

お遍路の服装と携行品

服装：普通の姿で問題ない。杖だけで迷っていることを認知してもらえるので金剛杖はお勧め。

リュックサックと中身：水と食料（コンビニがあるのでできるだけ少なく軽くする）。お遍路文化を経験するためには、数珠、ろうそくに線香、マッチかライター、納め札、ボールペン、経本、納経帳。

虫除け対策等：アブなどが襲ってくるので顔を覆う網のある帽子、虫除けスプレーや長袖の服装。マムシに注意しながら歩く必要もある。

靴と靴下：マメ予防のために大変重要。厚底でウォーキング専用が良い。登山靴は不要。

お遍路のナビゲーション：『四国遍路ひとり歩き同行二人』という本がバイブルになっている。

巡り方

移動手段：歩きがお勧め。最近、別格霊場に自動車で行っているが、目的地へ到達した時の達成

感が違う。歩き遍路のバスツアーもある。

巡り方：順打ち（1 番札所から 88 番へ）、逆打ち（88 番から逆回り）、区切り打ち、自由に回るなどがある。

お遍路計画

日数の計算：時速 4km で 8 時間歩くと 1 日 32km。1,200km 歩くには約 40 日かかる。自分は 1 日約 10km から始めた。20km 歩くなんで、途方もないと初めは感じていた。桜を見ながら歩くなど工夫した。ある時、予定の距離を昼過ぎに歩き終えた。雲一つない晴天で気候も良く、このまま帰るのは勿体ないと更に 2 時間ほど歩いた。その後から、長い時間と距離を歩けるようになった。

歩く日：毎年ゴールデンウィークをお遍路に当てている人がおられる。お遍路を始めると、「歩きにおいでよ」と呼ばれるようになる。誰に？ということではなく、自分の心の中に沸き起こる感情のようなものである。これは不思議なことだが、お遍路中毒とも言える状態が起こる。春に歩いた人は秋にも歩こうということになる。全身ピンク色の衣装にしたお遍路さんは東京からであったが、「おいでと呼ばれるので」という気持ちが頻回に起こるようになり、1 年半で結願したと言っていた。はじめは、民宿を利用していたが、一か所のホテルに何日間か泊まって巡ると、荷物を置いて身軽に歩け、入浴や洗濯も便利ということであった。女性にはお勧めのようだ。私は、月 1 回、週末の晴れの日を選んで巡った。夏は暑いので、朝の暑くなる前に歩き終えようと、満月の日を選んで歩いたりもした。

費用：外人さんや若者は野宿し、無料である通夜堂や善根宿を利用する人もいる。遍路道に「暇と金、意外と掛かる遍路かな」との川柳もあった。1 日 1 万円として 40 日なら 40 万円。お金には代えられないものがお遍路にはある。

2020 年閏年、新型コロナウイルス感染症でお遍路もままならなくなっている。この記述が役立つ日が早く来ることを願っています。

医者へ個人情報保護法を守れという愚

玖珂 八木 謙

ユーイング肉腫で余命半年とされた19歳の少女。少女の父親は妻には少女の病態のことを隠していた。病院に勤務する看護師が自分の夫に少女の病態について話した。看護師の夫は少女の母親と顔見知りだった。看護師の夫は少女の母親に秘密を洩らした。裁判になった。秘密を洩らされたことにより妻は精神的苦痛を受けたというものである。裁判所は病院側に慰謝料の支払いの判決を出した。病院側は看護師への守秘義務の管理責任義務を怠ったことが指摘された。看護師には刑法上の守秘義務は科されていない。看護師には保健師助産師看護師法下での守秘義務がある。が、刑法ではない。刑法の方が法としてのランクが上である。この裁判は民事だから刑事罰は無い。慰謝料の支払いだけである。では、この看護師には何の罰もないか。いや、病院が損害を受けたのだから減俸や懲戒免職はありうる。

これは近所のおばさんの言、「まあねえ、知り合いの市の職員さんが言うんですよ。あんたんとこの妹さん、肺がんなんだって、大丈夫？・・・私はびっくりしましたよ、初めて聞きましたから。市の職員はそんなことまで知ってるんですね」

チコちゃんじゃないんだから市の職員がそんなことまで知ってちゃいけない。私を含めてすべての医者になりたい。ぼーと患者の秘密を他人に漏らしてんじゃねえよ。

これはユーイング肉腫の判例と同様、訴訟になってもおかしくない話だ。守秘義務違反により精神的苦痛を受けたと。

何がいけないか。システムが悪い。医療機関が患者の名前と検査結果を市に報告するシステムになっている。例えば子宮がん検診の受診票をみると患者、医療機関、市へ報告、の3枚つづりになっ

ていてそのすべてに、

《個人情報について》

検査結果や撮影されたデーターを検診の判定や治療目的のため医療機関等において利用し、利用目的の達成に必要な範囲内で取り扱います。

と断っており、さらに県からの通達でこの個人情報の報告は本人の同意を必要としない、としている。

百歩譲って個人情報保護法をクリア出来ているとしても、刑法上の医師の守秘義務はクリア出来ているのか。以下の3つを検証してみたい。

- ①個人情報保護法を守っていることは医師の守秘義務を守っていることの十分条件か。
- ②医師の守秘義務を守っていることは個人情報保護法を守っていることの十分条件か。
- ③個人情報保護法を守っていることは医師の守秘義務を守っていることの必要十分条件といえるか。

こんな例を考えてみたい。増田明美さんは今年2月、全日本実業団ハーフマラソン大会支援の為に湯田温泉駅に降り立った。私はそれを目撃したのだが、その事実を話しても個人情報を漏らしたことにはならない。しかし、もし彼女が私の診療所を受診した場合、受診した事実を私が洩らしたら守秘義務違反となる。彼女に関するデーターの何も洩らさなくても、私の診療所（産婦人科医療機関）を受診したということを話せば守秘義務違反である。受付をして私の診察室に入ってきたとき、すでに患者・医師間の診療契約は結ばれている。その診療契約の中に守秘義務も含まれる。個人情報保護法をクリアしていても刑法上の医師の守秘義務をクリア出来ない例はある。

逆に医師の守秘義務を厳守している状態で個人

情報保護法を犯している事例は考えられるだろうか。色々吟味してみたがそんな事例は考えつかない。医師の守秘義務を厳守していれば十分に患者の個人情報保護されている。

②の医師の守秘義務を守っていることは個人情報保護法を守っていることの十分条件であるという文章は正しい。①、③は間違い。

まとめると医師の守秘義務を守っていることは個人情報保護法を守っていることの十分条件である。これは十分条件であって必要十分条件ではない。つまり守秘義務を守っていることと個人情報保護法を守っていることは同値ではない。

同値ではないと言う事の意味を考えてみたい。では必要条件、十分条件、必要十分条件について説明する。高校生への数学の講義みたいだけど少しお付き合い下さい。まず必要十分条件。これを同値と言った。例えば2等角三角形と2等辺三角形は言葉は違うが同じものを表している。2等角三角形であることは2等辺三角形であることの必要十分条件である。同値である。

これと異なり、個人情報保護法を守っていることと守秘義務を守っていることは同値ではない。ところがこれを同値だと錯覚している。そこが問題なのだ。

次に十分条件の例を示す。日本人であることは人間であることの十分条件である。私は日本猿でもないし日本脳炎ウイルスでもない。私は人間である。そして私は日本人である。人間であることは日本人であることの必要条件である。日本人であることは人間であることの十分条件である。日本人であることが証明できていれば人間であることを証明する必要は無い。

刑法上の守秘義務を守っていることは個人情報保護法を守っていることの十分条件である。ならば刑法上の守秘義務を守っていれば個人情報保護法を守っているかどうか吟味する必要が無い。これが医者に対し個人情報保護法を守っているかを問うことは意味がないという理由である。むしろ個人情報保護法を守っているか否かに気をとられて刑法上の守秘義務を忘れる事の方が怖い。

個人情報保護法という新しい法律ができ、この法に対して厚生労働省はこれこれの条件では個

人情保護法をクリアしていると言う。個人情報保護法をクリアしているのだから、がん検診の市への報告は本人の同意を得ずに行っていという理論だ。ここには刑法上の医師の守秘義務がクリアできているかどうかの論議がすっぱり抜け落ちている。これをヒットラー・フロイトの定理と言う。か、どうか知らないよ。しかし権威ある人間や組織が自信をもって、これこれ正しい、これこれは正しい、と言えどそのままそれを信じてしまう。そのことが真が偽かを検証する議論もなく大衆の中にそれは起こる。医師もそう信じ込んでいる。個人情報保護法をクリアしていることが医師の守秘義務が阻却されたことになるとは誰も言ってない。厚生労働省も医師の守秘義務が阻却されたなどとは一言も言ってない。しかし空気がそれを起こす。厚生労働省はそんなこと一言も言ってないのだから、患者の秘密が漏れたとしてもそれは厚生労働省の責任ではない。空気に躍らされた医師の責任である。

医師の守秘義務は絶対なのである。いや、絶対と言えない場合もある。イギリス人女性リンゼイさんを殺害し逃亡していた市橋容疑者は顔の整形の為に受診した美容整形外科医の通報により逮捕となった。このように守秘義務より通報義務が優先される場合はある。覚せい剤使用、銃や刀の傷の治療にあたった場合もしかり。また、裁判所命令でカルテ押収の場合は医師の守秘義務を越える。この場合、カルテの秘密保持の責任は裁判所にある。しかしカルテが医師の手元にある間は、医師は絶対に患者の秘密を守らなくてはならない。カルテの内容が市の職員に知られるような事はアメリカでは考えられないだろう。中国は別だ。あの国に人権は無い。日本はどうすればいいか。統計をとるのが目的ならSTD 定点と同じように患者の名前は伏せて報告すればいい。子宮がん検診ならASC-USが何例、SCCが何例という報告でよい。そして5年生存率など大事な統計は癌の手術を行っている医療機関の医師がやらなくてはならない。

ウィルスとの共生は生物を進化させる

徳山 中村 和行

ヒトの生体を構成する37兆個ともいわれる数の細胞は真核細胞と呼ばれ、その起源については諸説ありますが、今の定説になっているのは、1970年にリン・マーギュリスが提唱した細胞内共生説です。古細菌に近い生物に真正細菌が細胞内共生したのが真核細胞の起源とされています。

一方、2001年にフィリップ・ベルにより提唱され、日本でも武村政春が独立して提唱したのは細胞核ウィルス起源説です。巨大なDNAウィルスの祖先が古細菌に感染して両者が統合共生し、真核細胞の細胞核が形成されたというものです。この仮説では真核生物には三つの祖先があり、一つは細胞核となったウィルス、細胞質となった原核細胞、ミトコンドリアとなったバクテリアだそうです。ウィルスにおいて初めてRNAからDNAへのゲノム移行が起こったことが示唆され、DNAウィルスが遺伝情報の保存にRNAを使っていた宿主のために情報保管庫として機能していた可能性があるというものです。この仮説によれば、古細菌、バクテリア、真核細胞が別のウィルスからそれぞれDNAの遺伝システムを獲得したことになります。真核細胞の増殖に重要なテロメアとテロメラーゼはウィルスを起源とするとされることも注目されます。

2017年にはカリフォルニア大学の研究者が、ウィルス感染した細胞の蛋白質を用いた実験でDNAを取り囲む細胞核状の膜ができることを示しました。バクテリオファージに感染する性質のウィルスに、感染先となる細菌を与えると、そのバクテリオファージは細菌の蛋白質を使って、自

己のDNAを覆う膜を生成したことから、この膜に覆われたDNAが細胞核の起源ではないかと考えられています。¹⁾

細胞核ウィルス起源説はいくつかの示唆を与えます。脂質二重層のエンベロップをもつ螺旋ウィルスは、細胞核の脂質膜で覆われたDNA染色体と明らかに似ています。ウィルスは宿主内で大量に増殖することで細胞を破壊する一方で、細胞内にとどまって宿主細胞の増殖機構を制御するために効果的に機能する細胞核になりうることや、有糸分裂と細胞質分裂の過程で感染した細胞の共生体としてウィルスが機能することは、互いに生き残って増殖する戦略でもあると考えられています。真核細胞の誕生と進化においてウィルスが関与していたという仮説です。

さて、ウィルスにはどのような特徴があるのでしょうか。一般的に生物の単位である細胞と異なり、ウィルスは細胞質などを持たず、基本的に蛋白質と核酸からなり、核酸はDNAとRNAのいずれかしかなく、細胞は2nで指数関数的に増えますが、ウィルスは宿主内で一気に増える一段階増殖をしたり、宿主内で一度分解されて見かけ上、消えてしまうこともあります。また、ウィルスは代謝系を持たないために自身でエネルギーを産生できず、細胞に寄生することで自己増殖します。従って、いわゆる生物の定義には当てはまらず物体として定義されますが、最近のメガウィルスやミミウィルス(図1)などの細菌に非常に近い構造を持つ巨大なウィルスの発見により、ウィルスは寄生に特化した生物の一群に由来するものとも

考えられています。

ウィルスが宿主細胞に寄生すると細胞にどのような影響が出るのでしょうか。

ウィルスが細胞内で大量に増殖すると、細胞本来の機能が破綻したり、細胞膜の破壊が起きるために宿主細胞は死に至ります。ヒトの生体内ではウィルス感染した細胞の細胞周期を停止させたり、MHC クラス I などの抗原提示分子を細胞表面に題して細胞障害性 T 細胞を活性化して細胞死（アポトーシス）を起こし、感染した細胞が自ら死ぬことで生体内にウィルスが蔓延することを防ぐと考えられています。しかし、その折に活性化 T 細胞からサイトカインが大量に放出されると所謂サイトカインストームと呼ばれるような異常反応が起こり、多臓器不全を起こすこともあります。また、ウィルスによっては、少量のウィルスを長期にわたって持続的に産生させて宿主細胞の増殖速度とウィルス感染による細胞死の速度が釣り合うと持続感染が起こります。いわゆる潜伏感染です。そしてヒトに感染するウィルスの一部には、感染した宿主細胞を不死化したり、がん化したりするものがあります。その例として最初に発見されたのが EB（エプスタイン・バー）ウィルスです。

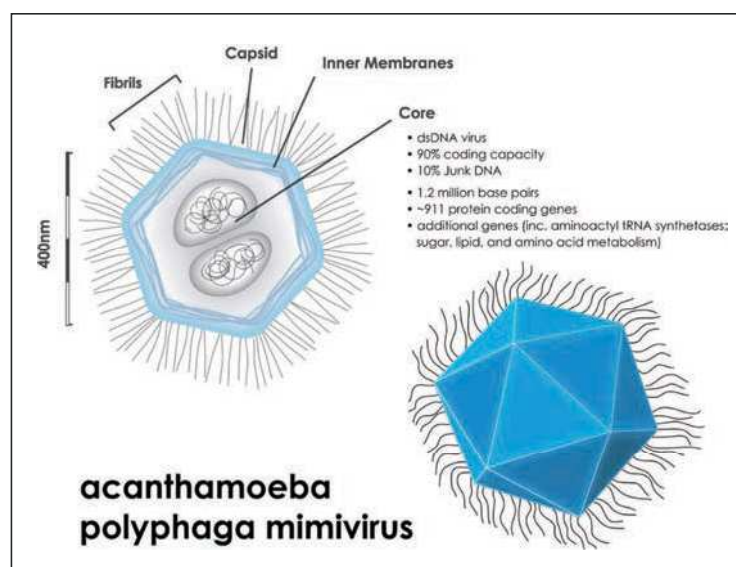


図 1. 巨大ウィルスのミミウィルス。
(Wikipedia「ミミウィルス」より引用)

今、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の原因である SARS 関連コロナウィルス（SARSr-CoV-2）のパンデミックにより、世界は生命の危機（生物学的な危機と経済的な危機）に直面しています。新型コロナウイルスは、ゲノムとして一本鎖プラス RNA を持つコロナウィルスに属します。重篤な肺炎を引き起こす SARS-CoV や MERS-CoV あるいは季節性の風邪を引き起こすヒトコロナウィルス HCoV-229 などと同じ科で、SARS-CoV と同じ種とみなされています。そのゲノム配列から SARS-CoV の直接の子孫ではなく、コウモリなどの野生動物が持っていたものがヒトに伝播し、ヒトからヒトへの感染能力を持ったと考えられています。SARS-CoV-2 のウィルス粒子は、一般的なコロナウィルスと同じように S（スパイク）蛋白質、N（ヌクレオカプシド）蛋白質、M（膜）蛋白質、E（エンベロープ）蛋白質の 4 種類の蛋白質と RNA で構成され（図 2）、エンベロープの最も外側にある S 蛋白質が、宿主細胞表面の ACE2（アンギオテンシン変換酵素 2）受容体に結合して細胞に感染します。この S 蛋白質を持つウィルスの電子顕微鏡の外観が王冠（ラテン語で coronam）を上から見たようにみえることから、コロナウィルスと命名されています。病原体としての基本再生産数（ R_0 ）は 1.4 ～ 3.9 で、

無防備の状態では 4 人を連鎖的に感染させるとされています。また、飼い猫も感染する事例が報告されています。感染経路は、飛沫感染、接触感染、エアロゾル感染などがあり、3 時間程度は空気中にエアロゾルとともにウィルスが漂うことが確認されています。また、イギリスのケンブリッジ大学などの報告では、世界で流行している SARS-CoV-2 は A,B,C の 3 つの型に分けられ、A 型は中国のコウモリ由来のウィルスに近く、A 型から変異した B 型が武漢市を中心として近隣諸国に爆発的な感染を起こしたとみられています。一方、B 型から変異した C 型は、イタリ

ア、フランス、イギリスなどの欧州で多かったとされています。SARS-CoV-2の最初のヒトへの感染は公式には2019年11月下旬に発生したとされていますが、そのヒトからヒトへの感染は、同年11月中旬に中国の湖北省武漢市で最初に発生、中国すべての省に蔓延し、アジア、ヨーロッパ、北米、オセアニア、アフリカ等160か国以上に拡散しました、2020年1月31日には世界保健機構（WHO）が国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態を宣言しましたが感染拡大が止まらず、同年3月11日になってWHOがパンデミック（世界的流行）相当との認識を初めて示し

ました。3月18日にはWHOが感染予防と拡散抑止の方策として、「こまめに水と石鹸による手洗い」「公共の場などでの1mほどの間隔をとる」「目、口、鼻などにできるだけ触れない」「他者のため肘やティッシュや布などで鼻と口を覆う」「発熱や咳、呼吸困難の症状がある場合、医療機関に相談する」「最新で確実な情報にもとづき判断し、また、地域の医療従事者などの助言に従う」と表記しました。日本においても、クルーズ船ダイヤモンドプリンセス号の船内感染の拡大を契機に国内での感染拡大が報告され、感染拡大防止対策が講じられています。4月16日には全都道府県に緊急事態宣言が発令され、5月6日まで不要不急の外出の自粛や遊興・遊戯施設などの関係事業者には新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条9号に基づいた休業要請がありましたが、5月14日には39県について「緊急事態宣言」が解除されています。国内における新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するために一般の生活が変化し、経済活動も大きな影響を受けています。教育現場ではオンラインによる遠隔授業や、医療ではオンライン診療の模索が続いています。

連日、メディアを通じてコロナ対策に対する議論が報じられていますが、社会や企業とのコミュ

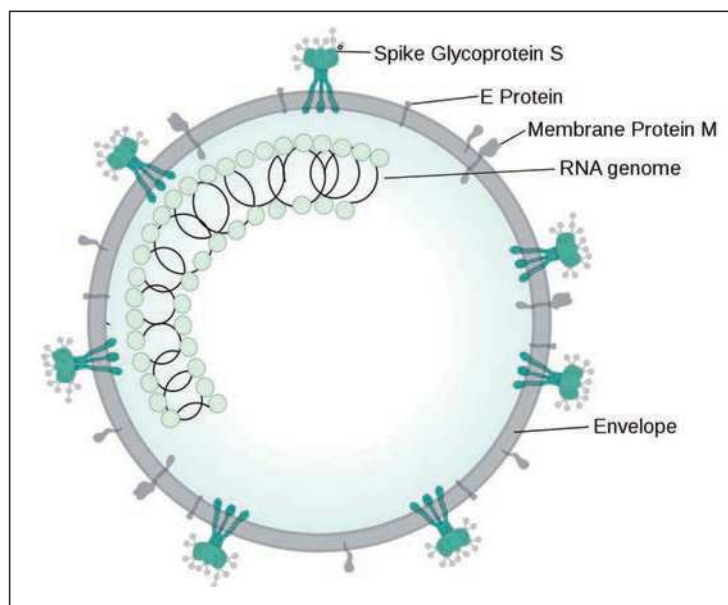


図2. コロナウィルスの構造。
(Wikipedia「コロナウィルス」から引用)

ニケーションやエンターテインメントのあり方を含めて文明と文化の継承にも新しい様式が求められています。私達一人一人の意識改革と生活様式の変化が求められ、個性と多様性が求められています。ウィルスが生物としてのヒトを経済活動の中で進化させようとしています。ただ、その根底には、社会に生きる人間としての倫理があります。

引用文献

- 1) Vorrapon Chaikeeratisak et al. Assembly of a nucleus-like structure during viral replication in bacteria. Science (3 Jan. 2017) Vol. 335, Issue 6321, pp 194-197.